

わが家の防災メモ

家族で避難先や緊急時の連絡先などについて話し合い、しっかり記入しておきましょう。

わが家の避難場所

家族がはなればなれになった時の集合場所

家族の連絡先

名 前	生年月日	血液型	会社や学校の連絡先	携帯電話番号

いざというときの連絡先

消 防 火事・救急119番 **海上保安118番** **警 察 事故・事件110番**

名 称	電話番号	名 称	電話番号
泉南市役所	072-483-0001		
泉南消防署	072-485-0119		
泉南警察署	072-471-1234		

※空欄に家族に必要な連絡先を記入しておきましょう。

災害用伝言サービス

地震や洪水などの大規模災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が数日間続くことがあります。このような場合は、以下のサービスが開設されます。

災害用伝言ダイヤル 171

パソコンやスマートフォン等から、固定電話番号や携帯電話・PHS番号を入力して安否情報(伝言)の登録、確認を行います。



災害用伝言板(web171) <https://www.web171.jp/>

スマートフォン・携帯電話・PC等から災害用伝言板(web171)にアクセスし、テキストによる安否情報(伝言)の登録・確認を行うことができます。

※上記の他に携帯電話各社から「災害用伝言板サービス」が提供されます。利用方法については各社ホームページ等でご確認ください。

泉南市

災害に対しては日ごろからの備えが重要です。
あなた自身とあなたの大切な人を災害から
守るために、この冊子をご活用ください。

総合防災マップ

Sennan City Disaster Prevention Map 泉南综合防灾地图 센난시 종합 방재 맵



目 次

- 災害への備え 1～6
この冊子の活用方法／防災・減災の基本／自主防災組織／避難行動要支援者／避難情報と警戒レベル／情報伝達の経路／情報の入手先／避難所における感染症対策と分散避難／非常持ち出し品の準備／備蓄品
- 洪水・土砂災害 7～13
大雨や洪水に関する注意報・警報／河川の水位情報／雨の強さ・降り方と災害の危険性／内水氾濫と外水氾濫／避難の心得／水平避難と垂直避難／早期の立退き避難が必要な区域／避難行動を考えましょう／家屋の被害を抑える／家庭でできる簡易水防／局地的大雨(ゲリラ豪雨)から身を守るために／大雨・洪水時の地下施設の危険性／土砂災害の種類と前兆現象／土砂災害警戒情報
- 洪水・土砂災害ハザードマップ 14～26
- 地震・津波 27～30
地震・津波が起きたときとるべき行動／緊急地震速報を見聞きしたら...／屋内の安全対策／家屋の耐震化／大津波警報・津波警報・津波注意報／津波の発生と伝わり方／津波の特徴と避難時の心得
- 地震ハザードマップ 31・32
震度分布／建物倒壊危険度／液状化危険度
- 津波ハザードマップ 33～36
- 高潮 37～40
高潮災害とは／台風のコースと高潮の関係／台風のコースと大阪湾／過去に大阪湾で高潮災害をもたらした台風／高潮災害に備えて／気象庁が発表する高潮に関する気象情報／高潮氾濫発生情報／泉南市内の災害ごとの危険箇所
- 高潮ハザードマップ 41～46
- 避難場所・避難所一覧 47・48
- マイ・タイムライン 49・50
マイ・タイムラインを作成しましょう



この冊子の活用方法

泉南市では、住民の皆様防災に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的に、「泉南市 総合防災マップ」を作成しました。

ハザードマップには、地震、津波、台風、大雨（洪水・高潮）などにより、被害にあう可能性のある地域を示す災害情報に加えて、避難場所、避難所、警察、消防などの防災関連施設を掲載しています。自宅・学校・職場などの周辺にどのような災害の危険性があるのか、また、最寄りの避難場所や避難経路の確認など、家庭や地域内での防災の取り組みにご活用ください。

ハザードマップの使い方

①自分の家の位置を確認してください

自分が住んでいる場所に、どのような災害の危険があるかを確認してください。

②避難場所を確認してください

自分の家から近い避難場所を確認しておきましょう。災害ごとに使用可能な避難場所が異なりますので注意しましょう。

③自主防災組織や地域の各種団体において、災害や避難について話し合ってください

地域で防災について話し合い、地域特有の自然災害や災害時に危険な道路及び避難行動要支援者への対応などについて意見を出し合いましょう。

④避難経路を考えてみてください

実際に避難場所まで歩いてみて、安全で避難しやすい経路を確認しておきましょう。

防災・減災の基本

防災・減災のキーワードとして、「自助」「共助」「公助」という言葉が良く使われます。自助とは、いざというとき自分や家族の命と財産を守るために、住民、企業が自ら備えることです。共助とは、地域社会の被害を減らすために地域が協力して助け合うことです。公助は、行政が担う総合的な防災対策などを指しています。災害の発生を防ぐことはできませんが、これらの自助、共助、公助が連携し、効果的に機能すれば、被害を減らすことは可能です。



自主防災組織

地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために結成される組織が“自主防災組織”です。日頃から防災に関する様々な取り組みを行うとともに、災害時には被害を最小限に食い止めるための活動を行います。各地域で組織づくりに取り組みましょう。

平常時の活動例

●防災知識の普及

防災講演会の開催、防災チラシの発行など。

●地域の災害危険箇所等の把握

災害危険箇所・防災上有効な施設の把握、地域防災マップの作成など。

●防災訓練

情報伝達・避難、避難所開設・運営、初期消火、応急手当、給食・給水訓練など。

●防災資機材の整備

防災活動で必要となる資機材の整備や確認など。

●避難行動要支援者への支援

高齢者、障害者など災害時に支援を要する方の事前把握・支援計画の作成。

●防災に関する地域のコミュニケーション

日頃からの声かけ、要配慮者への支援体制の確立。

災害時の活動例

●初期消火活動

地震の時の出火防止、火災が拡大するまでの初期消火、消防隊が到着するまでの延焼拡大防止。

●避難誘導

安全な避難経路による住民の避難誘導。

※避難行動要支援者（高齢者、障害者などの支援を要する方）を優先。

●救出・救援活動

負傷者の救出や応急手当の実施、重傷者の病院搬送。

●避難行動要支援者への支援

避難行動要支援者への情報提供・避難支援。

●情報収集・伝達活動

防災関係機関・地域内の情報収集・伝達。

●給食・給水活動など

避難場所での食料・飲料水、救援物資の配給、炊出し。

避難行動要支援者

高齢者、障害者、乳幼児等の特に配慮を要する方（要配慮者）のうち、災害発生時に自ら避難することが困難で支援が必要な方を、避難行動要支援者といいます。

避難が必要となった場合は、地域で協力しあいながら、近所の高齢者、障害のある方などの安否確認、避難場所への移動を支援しましょう。

高齢者・病人

- おぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



目の不自由な方

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩手前をゆっくり歩く。



肢体の不自由な方(車椅子)

- 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。



耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



災害への備え

避難情報と警戒レベル

災害の発生する危険度に応じて、5段階の「警戒レベル」を付して、3段階の「避難情報」と「住民等がとるべき行動」をお知らせします。普段から、避難情報や、とるべき行動について確認し、発令・発表された場合は適切な行動をとってください。

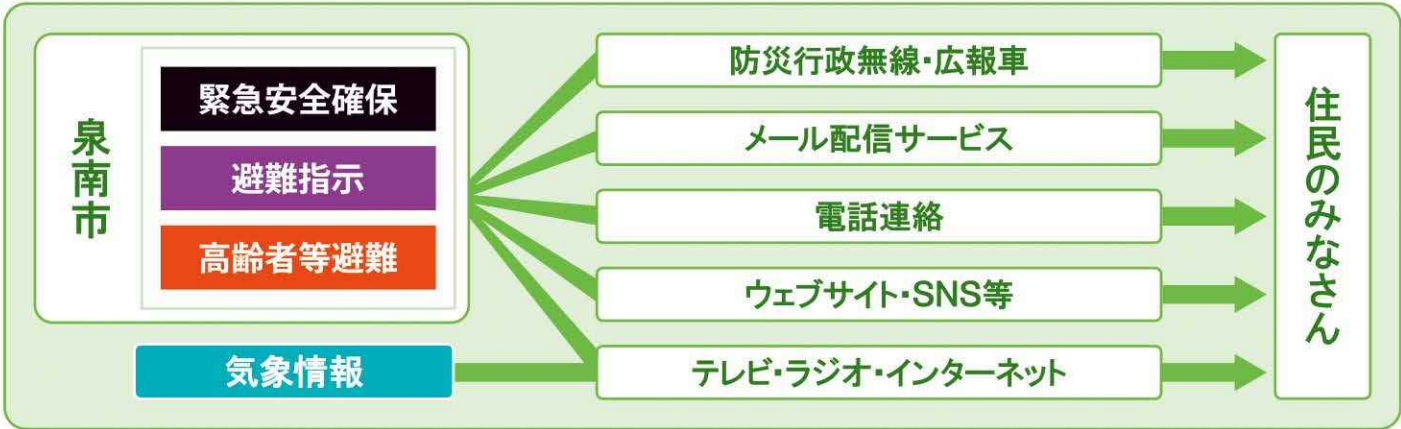
警戒レベル (5段階)	避難情報 (3段階)	とるべき行動
5	緊急安全確保 (泉南市が発令)	すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 直ちに身の安全を確保してください。
〈警戒レベル4までに必ず避難!〉		
4	避難指示 (泉南市が発令)	速やかに危険な場所から全員避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
3	高齢者等避難 (泉南市が発令)	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表)	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
1	早期注意情報 (気象庁が発表)	災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル5緊急安全確保は、災害発生または、すでに安全な避難ができず命が危険な状態です。
警戒レベル5の発令を待ってはいけません!

警戒レベル4避難指示で、危険な場所から全員避難しましょう。

警戒レベル3高齢者等避難で、避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、危険な場所から避難しましょう。

情報伝達の経路



情報の入手先

情報を収集して危険だと感じたときには、避難情報が発令されていなくても自主的に避難してください。

●気象庁 あなたの街の防災情報(キキクル)

キキクル

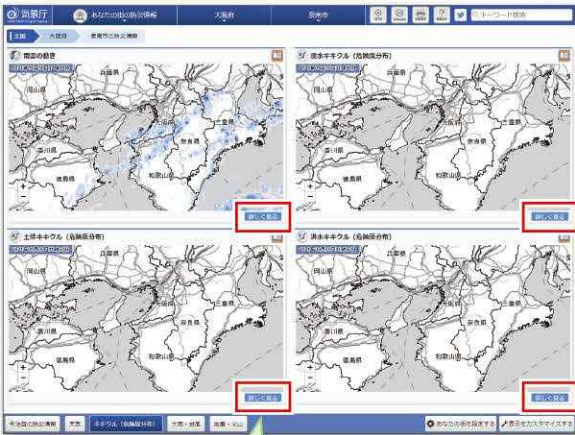
検索

▶泉南市の雨雲の動きや、洪水・浸水・土砂災害の危険度分布など

https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain_level

泉南市の防災情報

https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=class20s&area_code=2722800&pattern=rain_level



右下の「詳しく見る」をクリックすると、詳細を見ることができます。



●国土交通省【川の防災情報】

川の防災情報

検索

▶全国の雨量・水位の情報・河川カメラなど

<https://www.river.go.jp/index>

泉南市を検索し地図を表示して、河川の様子や水位情報、雨量情報を見ることができます。



泉南市ホームページ

泉南市

検索

▶この冊子のマップや緊急災害情報など

<http://www.city.sennan.lg.jp/>

おおさか防災ネット

おおさか防災

検索

▶大阪府内の防災関連情報や関連サイトの情報など

<http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>

気象庁

気象庁

検索

▶全国の気象や災害・洪水予報に関する情報など

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

大阪府土砂災害の防災情報

大阪府土砂災害の防災情報

検索

▶大阪府内の土砂災害警戒情報の発表状況など

<http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html>

災害への備え

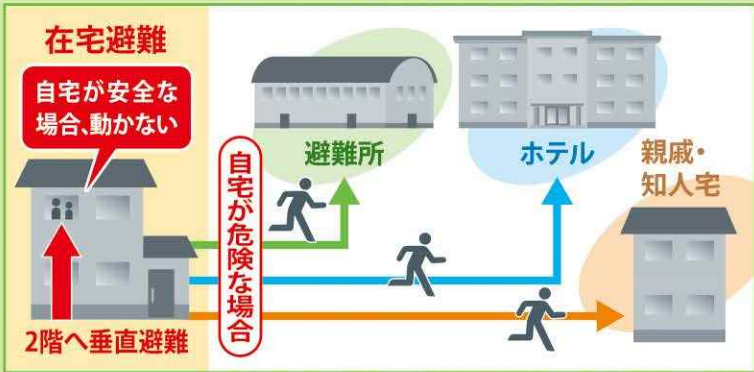
避難所における感染症対策と分散避難

感染症等がまん延する状況においても災害が発生した場合は、密を避けた避難が必要です。
市が避難所を開設する際、各避難所では十分な換気や消毒液の設置のほか、避難者ごとに適切な間隔をとるなどの感染防止対策を講じます。一方、これらの感染防止対策をとることにより通常時より受け入れできるスペースに影響もあります。そこで、市民のみなさんも、避難先として避難所だけでなく、在宅避難や親戚や知人宅へ避難する分散避難について考えることや、避難する際にマスクや体温計などの持参を考えて、家庭での備蓄にご協力をお願いします。

市民のみなさんへのお願い

●分散避難について

自宅での安全確保が可能な人は、必ずしも避難所に行く必要はありません。
感染リスク等を考慮して行動してください。
また、安全な場所にある親戚・知人宅に避難することも、検討してください。



●避難所での感染防止対策について

マスク・消毒液・体温計の持参

市の備蓄品には限りがあります。避難する際は、食料や水、日用品に加えて、マスク・消毒液（ウエットティッシュ）・体温計を、できるだけ自ら持参してください。



手洗いや手指消毒とマスクの着用

こまめな手洗いや手指消毒、マスクの着用や咳エチケットなどの基本的な感染対策をしましょう。



三つの密に注意

避難所内では十分な換気を行い、避難者間のスペースの確保を行います。避難者の方々による換気のご協力をお願いします。



避難所の受け入れ体制

避難所における三つの密（密閉空間・密集場所・密接場面）を回避し、可能な限り感染リスクが軽減できるよう必要となる対策や準備を進めます。

定期的な換気の実施

十分なスペースの確保

手洗い、手指消毒、マスクの着用、咳エチケットなどの基本的な感染対策の徹底

避難者の健康状態の把握と管理

消毒液の設置（限りがあります）

非常持ち出し品の準備

いざというときに備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。非常持ち出し品は、リュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。



食料

- ☐ 飲料水（1人1日3リットルを目安）
- ☐ 非常食（缶詰、乾パン、レトルト食品など）
- ☐ 携帯食（チョコレート、キャンディーなど）
- ☐ 粉・液体ミルクと哺乳びん、離乳食（赤ちゃんがいる場合）

救急・安全対策

- ☐ 常備薬（胃腸薬、かぜ薬など）
- ☐ 包帯、ガーゼ、ばんそうこう
- ☐ 傷薬、消毒薬
- ☐ 持病のある方の薬、お薬手帳
- ☐ ヘルメット、防災ずきん
- ☐ ホイッスル

貴重品

- ☐ 現金（小銭）
- ☐ 預貯金通帳、印鑑
- ☐ クレジットカード類
- ☐ 健康保険証
- ☐ マイナンバーカード、免許証など（本人確認できるもの）

衣類など

- ☐ 衣類（厚手の物と薄手の物）
- ☐ 下着類
- ☐ タオル
- ☐ 手袋、軍手
- ☐ 毛布または寝袋
- ☐ 雨具

日用品など

- ☐ ポリ袋（ビニール袋）
- ☐ 携帯ラジオ（予備電池）
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 新聞紙
- ☐ 携帯電話（充電器・バッテリー）
- ☐ 紙おむつ
- ☐ ろうそく、ライター
- ☐ 筆記用具（油性マジック）
- ☐ 生理用品
- ☐ ナイフ、缶切り
- ☐ 洗面用具
- ☐ 布製ガムテープ
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ メガネ
- ☐ ロープ
- ☐ 懐中電灯（予備電池）
- ☐ マスク、手指用消毒液等
- ☐ 地図（ハザードマップ）

備蓄品

災害復旧までの数日間（7日間程度）自ら生活できるように準備しておきましょう。被害を受けにくく、非常時でも取り出しやすい場所に保管しておくといいでしょう。

食料

- ☐ 飲料水（1人1日3リットルを目安）
- ☐ 米（缶詰やレトルトのご飯なども便利）
- ☐ 缶詰や菓子類
- ☐ 粉・液体ミルク・離乳食

燃料・日用品など

- ☐ カセットコンロ
- ☐ 予備のガスボンベ
- ☐ 毛布または寝袋
- ☐ ブルーシート
- ☐ なべ、割り箸
- ☐ 衣類
- ☐ 新聞紙
- ☐ 簡易・携帯トイレ
- ☐ 布製ガムテープ
- ☐ キッチン用ラップ
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ ポータブル発電機

「循環備蓄」を心がけましょう

備蓄食料・飲料水などは保存期限が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して常に一定量のストックがある状態を保つことを「循環備蓄」といいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに保存期限切れで使えなくなることを防ぎます。



洪水・土砂災害

大雨や洪水に関する注意報・警報

大雨や暴風などによって発生する災害の防止・軽減のため、気象庁から「注意報」「警報」が発表されます。さらに、警報の発表基準をはるかに超える大雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、「特別警報」が発表され、最大限の警戒を呼び掛けます。※「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります。

大雨・洪水注意報 災害が発生するおそれがある	大雨・洪水警報 重大な災害が発生するおそれがある	大雨特別警報 「警報」よりもはるかに高い危険度
大雨 大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 大雨により、重大な浸水災害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想したときに発表。
洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。

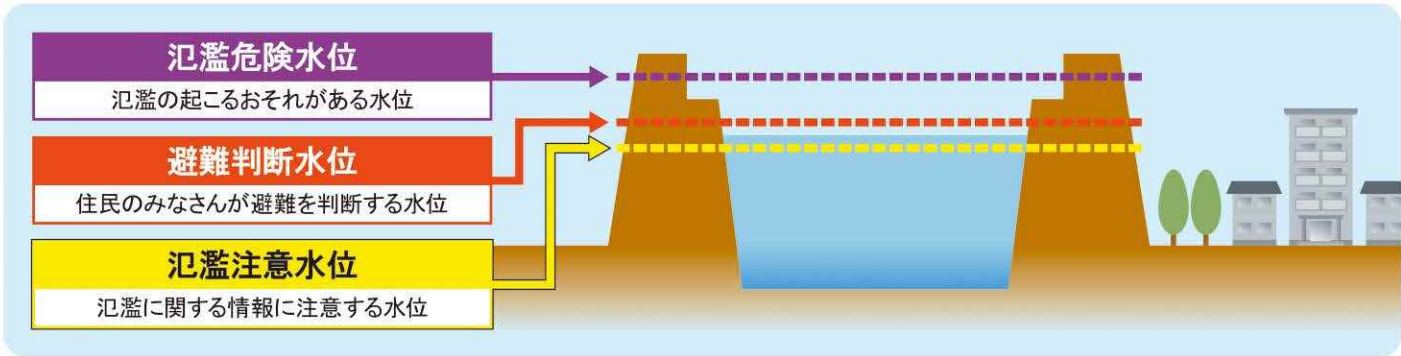
このほか、数年に一度の猛烈な雨が観測された場合には、気象台から、「記録的短時間大雨情報」が発表されます。土砂災害の危険性が高まった場合には「土砂災害警戒情報」が発表されます。線状降水帯が発生している場合は「顕著な大雨に関する情報」が発表されます。この情報が発表された地域では、近くで災害の発生につながる事態が生じていることを意味しています。

河川の水位情報

河川の水位が上昇して洪水のおそれがあるとき、大阪府から河川の水位情報が発表され、報道機関などを通じて周知されます。市は、男里川・樫井川・新家川の水位が基準の水位に達するなどの状況を判断し、避難情報を発令します。

警戒水位	発令される避難情報(目安)	男里川 男里川橋	樫井川 大正大橋	新家川 新新家川橋
—	緊急安全確保	水位が堤防を超えるおそれが高い場合		
氾濫危険水位	避難指示	4.25m	3.60m	1.10m
避難判断水位	高齢者等避難	4.00m	3.30m	1.00m
氾濫注意水位	—	2.75m	2.25m	0.90m

■水位の名称等



雨の強さ・降り方と災害の危険性

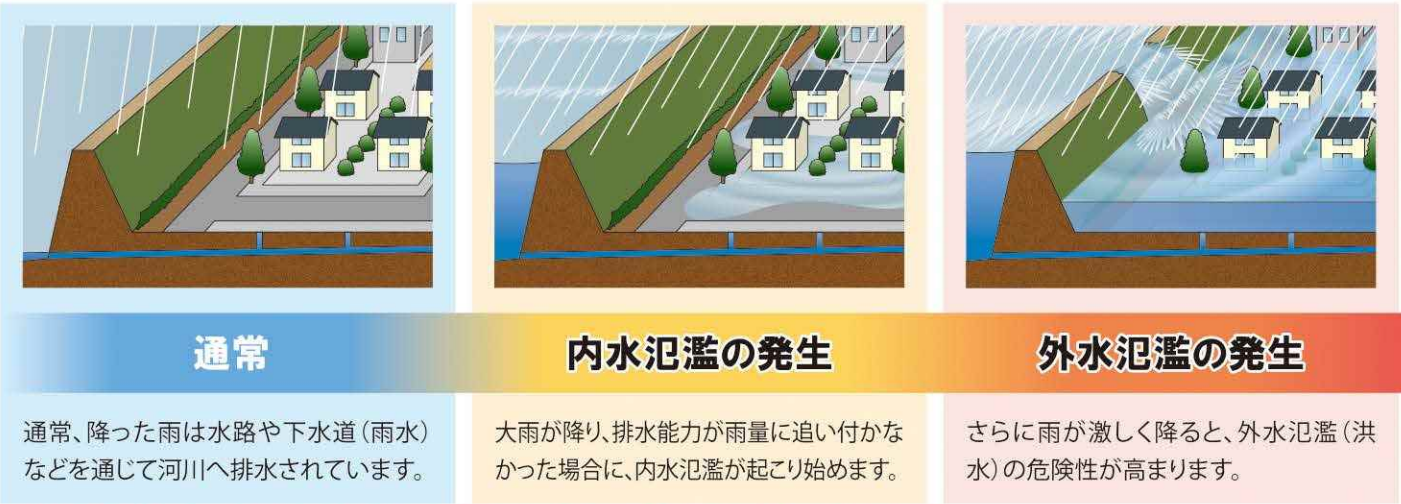
下の表は、雨の強さと降り方の目安、それに伴う災害の危険性を示したものです。普段から雨の様子に注意し、警報や避難情報が発令される前でも、危険と判断すれば自主的に避難することが大切です。

	やや強い雨 10～20mm未満	強い雨 20～30mm未満	激しい雨 30～50mm未満	非常に激しい雨 50～80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
1時間雨量と予報用語					
人の受けるイメージ	●ザーザーと降る。	●どしゃ降り。	●バケツをひっくり返したように降る。	●滝のように降る。 (ゴーゴーと降り続く)	●息苦しくなるような 圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	●地面からはね返りで足元がぬれる。	●傘をさしていてもぬれる。 ●車の場合、ワイパーを速くしても見づらい。	●道路が川のようになる。 ●高速走行時に車のブレーキが効かなくなるハイドロプレーニング現象が起こる。	●傘はまったく役に立たなくなる。 ●水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。 ●車の運転は危険。	
災害の危険性	●この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	●側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。 ●小規模のがけ崩れのおそれがある。	●山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	●土石流が起こりやすい。 ●多くの災害が発生する。	●雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

※表に示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質などの違いによって被害の様子は異なることがあります。この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

内水氾濫と外水氾濫

洪水には、降った雨が水路や下水道などで排水しきれなくなることにより起こる氾濫(内水氾濫)と、川の堤防が壊れたり、水が溢れたりして発生する氾濫(外水氾濫)があります。まずは、洪水の発生するしくみを理解して、避難場所などまで安全に避難できるよう経路を確認しておきましょう。



その場で雨が降っていないくても、上流で降った大雨により、下流で氾濫が発生することがあります。

洪水・土砂災害

避難の心得

いざという時のために、日頃から避難に必要な持ち出し品を整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定される場合には、正確な情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。



状況により、すばやく避難しよう
避難情報などが発表されていなくても、雨の状況などから判断し、自主的に避難しましょう。



家族には連絡メモを残そう
外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくとい良いでしょう。



防災メモを持とう
高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。



車での避難は控えて
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。



集団で助け合おう
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。



安全な経路で避難
避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。



持ち出し品は最小限に
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
※靴は長靴ではなくスニーカー等の歩きやすい靴にしましょう。



避難場所では指示に従おう
避難場所に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

水平避難と垂直避難

水害では早めに避難しましょう。避難が遅れたり、避難できなかったりすでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難指示が発令されていても、がけや浸水区域から離れる(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所へ移動(垂直避難)するという判断が必要です。また、土砂災害の危険性がある地区では、屋内でも山と反対側に避難することも必要です。



危険な避難



危険な場所から離れる(水平避難)



高所への避難(垂直避難)



土砂災害の危険性がある場合
山と反対側の2階以上へ避難します。
何よりも命を守る行動を!!

どうしても避難場所等にたどり着けない時や、浸水等による建物倒壊の危険がないと判断される場合には、近隣建物の高層階や、自宅の2階以上へ緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討してください。

早期の立退き避難が必要な区域

家屋倒壊等氾濫想定区域等にお住まいの方は、立退き避難が必要となる場合があります。

これらの区域では
立退き避難をしてください

浸水深3.0m以上
になる区域

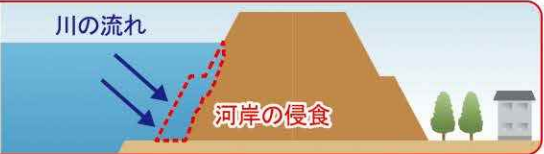
洪水時に家屋倒壊の
危険性がある区域

河川周辺の区域

河川の近くは、川の流れにより(氾濫や河岸侵食により)堤防が決壊した場合に家屋が倒壊する危険性があります。市からの避難情報や川の様子に注意し、危険を感じたらすぐに避難してください。

河岸侵食とは...

川の流れにより河岸が削られる現象を「河岸侵食」といいます。河岸侵食により、堤防が決壊するおそれがあります。



川の流れ
河岸の侵食

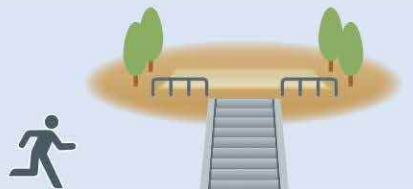
避難行動を考えましょう

避難とは「難」を「避」けることです。小学校などの避難場所へ行くことだけでなく、安全な場所の親戚や知人宅、ホテル、旅館等への避難も考えて、災害時にどのような避難をするか決めておきましょう。

4つの避難行動


1 市が、指定した避難場所への、立退き避難

●市が指定した避難場所、一時避難場所への立退き避難。
※避難場所等は、マップやP47一覧表を参照




2 安全な場所の、親戚や知人宅への、立退き避難

●普段から、避難について、相談しておきましょう。
●親戚や知人宅が安全かどうかハザードマップで確認しましょう。



3 安全な場所の、ホテルや旅館への、立退き避難

●宿泊料が必要となります。また事前に宿泊可能な施設を確認しておきましょう。
●宿泊先が安全かどうかハザードマップで確認しましょう。



4 屋内での、安全確保

●ハザードマップで以下の内容を確認して、大丈夫であれば自宅等での屋内安全確保が可能です。

☐ P15～26の洪水・土砂災害ハザードマップにおいて、「家屋倒壊等氾濫想定区域」に入っていない。

☐ 洪水・土砂災害ハザードマップ、高潮ハザードマップを確認し、「浸水深」よりも階数が高い場所に居室がある。※浸水深はあくまでも想定です。想定以上の災害も考えられます。危険を感じたら立退き避難を考えてください。

☐ 浸水した時は、水がひくまでに数日かかる場合もあります。P6に記載の備えを十分におこなっており、我慢することができる。

洪水・土砂災害

家屋の被害を抑える

風水害による家屋の被害を抑えるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策を講じておきましょう。

外壁

- モルタルの壁に亀裂はありませんか

ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか

ブロック塀

- 傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか

排水溝

- 側溝や雨水ますにゴミや土砂はありませんか

窓

- 窓枠のがたつきはありませんか
- 雨戸にがたつきはありませんか

屋根・雨どい

- 不安定なアンテナはありませんか
- トタンがめくれていませんか
- 瓦のひび・割れ・はがれはありませんか
- 雨どいにゴミや木の葉は溜まっていませんか

板塀

- 板塀に腐りや浮きはありますか
- 板塀に支柱はありますか

その他

- ガスボンベは固定していますか
- 商店などでは看板のぐらつきはありませんか
- ゴミ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか
- 庭木には添え木をしていますか
- 窓ガラスが飛散しないような対策をしていますか

家庭でできる簡易水防

浸水が浅い場合には、土のう（無い場合は水のう）を設置することで、水が建物へ浸入することを防げます。簡易的な措置として、植栽用プランターや石油用ポリタンク、長めの板（はしごやテーブルでも可）などを、ビニールシートで包んで設置してもよいでしょう。道路よりも建物が低い場合や、地下室がある場合などは、止水板を設置しておく、より効果的です。

簡易水防工法例 ①

プランター + ビニールシート

土を入れたプランターをビニールシートで巻き込んだものを使用し、浸水を防ぎます。

簡易水防工法例 ②

簡易水のう + 止水板

簡易水のうを作り、長めの板などと組み合わせて出入りに設置し、浸水を防ぎます。

簡易水のうの作り方

家庭で使用しているごみ袋（40リットル程度の容量）を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。

局地的大雨(ゲリラ豪雨)から身を守るために

近年、急激に発達した積乱雲に伴う局地的な大雨(ゲリラ豪雨)による災害が発生しています。このような災害は、大雨警報・注意報に至らないような雨量でも起こることがありますので、川の中や川の近くにいるときは注意が必要です。

このような場所では、天気の変化に注意し、危険を感じたらすぐに身の安全を図ってください

川などでの釣りや水遊び

河原や川の中州でのキャンプ、バーベキュー

地下をくぐる形式の立体交差(アンダーパス)

河川や下水道の工事現場

チェックすべき事	こんなときは要注意
天気予報	「大気の状態が不安定」「雷」「天気の変化」などの表現があるとき
警報や注意報	雷注意報、大雨や洪水の警報・注意報が出ているとき
レーダーなどの観測情報（携帯電話などで入手）	周辺や上流で雨が降っているとき
空の状態	「急に真っ黒な雲が近づいてきた」「雷鳴が聞こえる」「稲妻が見えた」とき
川の状態	「水かさが増えてきた」「濁ってきた」「流木や落ち葉が流れてきた」とき
看板	「危険区域には立ち入らない」などの表現があるとき

危険を感じたら、ただちに避難！

遊んでいる子どもや工事の作業員は、周囲の状況の変化に気付くにくいので、保護者や監督者は危険を感じたら、すぐに避難を呼びかけましょう。総雨量は少なくても、短時間で甚大な被害が発生することがあります。

大雨・洪水時の地下施設の危険性

大雨や洪水時の地下施設・地下室などは危険です。地下空間は、地上の浸水状況と大きく異なり、冠水や停電の危険性が高いため、特に早めの避難が必要です。

地下室では外の様子がわかりません。




水深が20～30cmでも、水圧でドアは開かなくなります。

地上が浸水すると、一気に水が流れ込んできます。

土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。もし、下に示すような前兆現象を確認したら、速やかに避難するとともに、泉南市役所へご連絡ください。

土砂災害の種類には、大きく分けて3つのタイプがあります。自分の周りではどのタイプの土砂災害のおそれがあるか、確認しておきましょう。

がけ崩れ	土石流	地すべり
		
地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。	大雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。崩壊土砂が河川をせき止める場合があります。	大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、地面が広い範囲にわたりゆっくりと動きだす現象です。ゆっくり動き出すため気づくのが遅れる場合があります。

こんなときは要注意		土砂災害の前ぶれ(前兆現象)		
五感	移動主体	がけ崩れ	土石流	地すべり
視覚	山・斜面・がけ	●がけに割れ目がみえる。 ●がけから小石がパラパラと落ちる。 ●斜面がはらみだす。	●溪流付近の斜面が崩れだす。 ●落石が生じる。	●地面にひび割れができる。 ●地面の一部が落ち込んだり盛り上がったたりする。
	水	●表面流が生じる。 ●がけから水が噴き出す。 ●湧水が濁りだす。	●川の水が異常に濁る。 ●雨が降り続けているのに川の水位が下がる。 ●土砂の流出が見られる。	●沢や井戸の水が濁る。 ●斜面から水が噴き出す。 ●池や沼の水かさが急減する。
	樹木	●樹木が傾く。	●濁水に流木が混じりだす。	●樹木が傾く。
音		●樹木の根が切れる音がする。 ●樹木の揺れる音がする。 ●地鳴りがする。	●地鳴りがする。 ●山鳴りがする。 ●転石のぶつかり合う音がする。	●樹木の根が切れる音がする。
におい		—	●腐った土のにおいがする。	—

※上記は一般的な前ぶれです。すべての場所において必ず起きるというものではありません。

土砂災害警戒情報

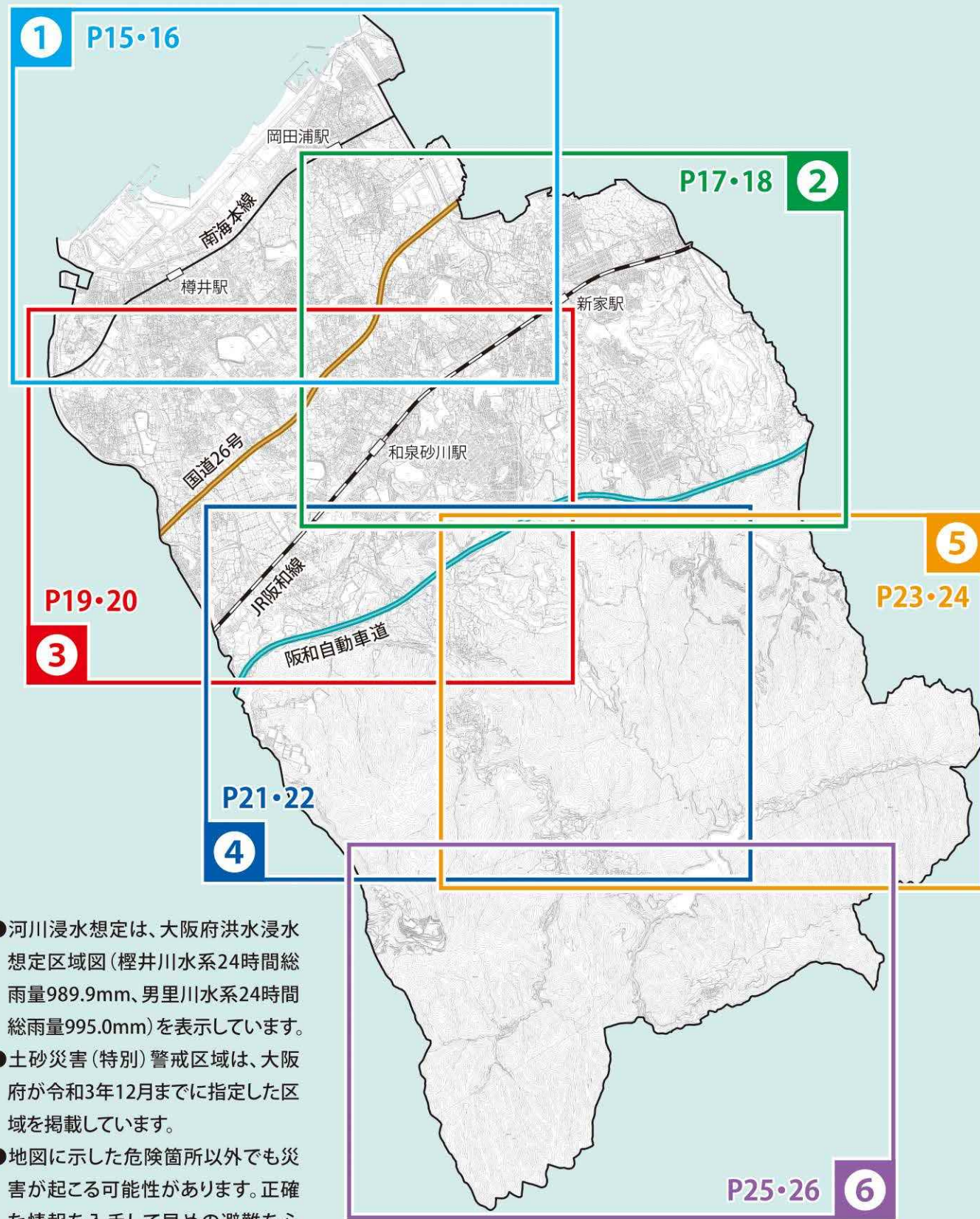
土砂災害警戒情報とは、大雨警報(土砂災害)の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、大阪府と大阪管区気象台が共同で発表する情報です。

土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒してください。また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意しながら、早めの避難行動をとってください。気象庁の「キキクル」でも、土砂災害発生の危険性を確認できます。



このマップについて

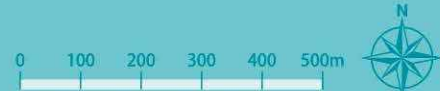
このマップは、大雨時に発生するおそれのある、河川洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の災害情報と、避難場所の位置などを記載しています。大雨に備えて、被害や浸水が発生しやすい場所などを日頃より把握し、いざというときに備えましょう。



- 河川浸水想定は、大阪府洪水浸水想定区域図(櫻井川水系24時間総雨量989.9mm、男里川水系24時間総雨量995.0mm)を表示しています。
- 土砂災害(特別)警戒区域は、大阪府が令和3年12月までに指定した区域を掲載しています。
- 地図に示した危険箇所以外でも災害が起こる可能性があります。正確な情報を入手して早めの避難を心がけてください。

泉南市 洪水・土砂災害ハザードマップ ②

Sennan City Flood / Sediment Disaster Hazard Map 泉南市洪水と山体滑動災害図 센난시 홍수·토사 재해 하지도 맵



土砂災害(特別)警戒区域

地质灾害(特別)警戒区域/토사재해(특별)경계 구역 (Emergency) Landslide Disaster Warning Zone



①土砂災害特別警戒区域

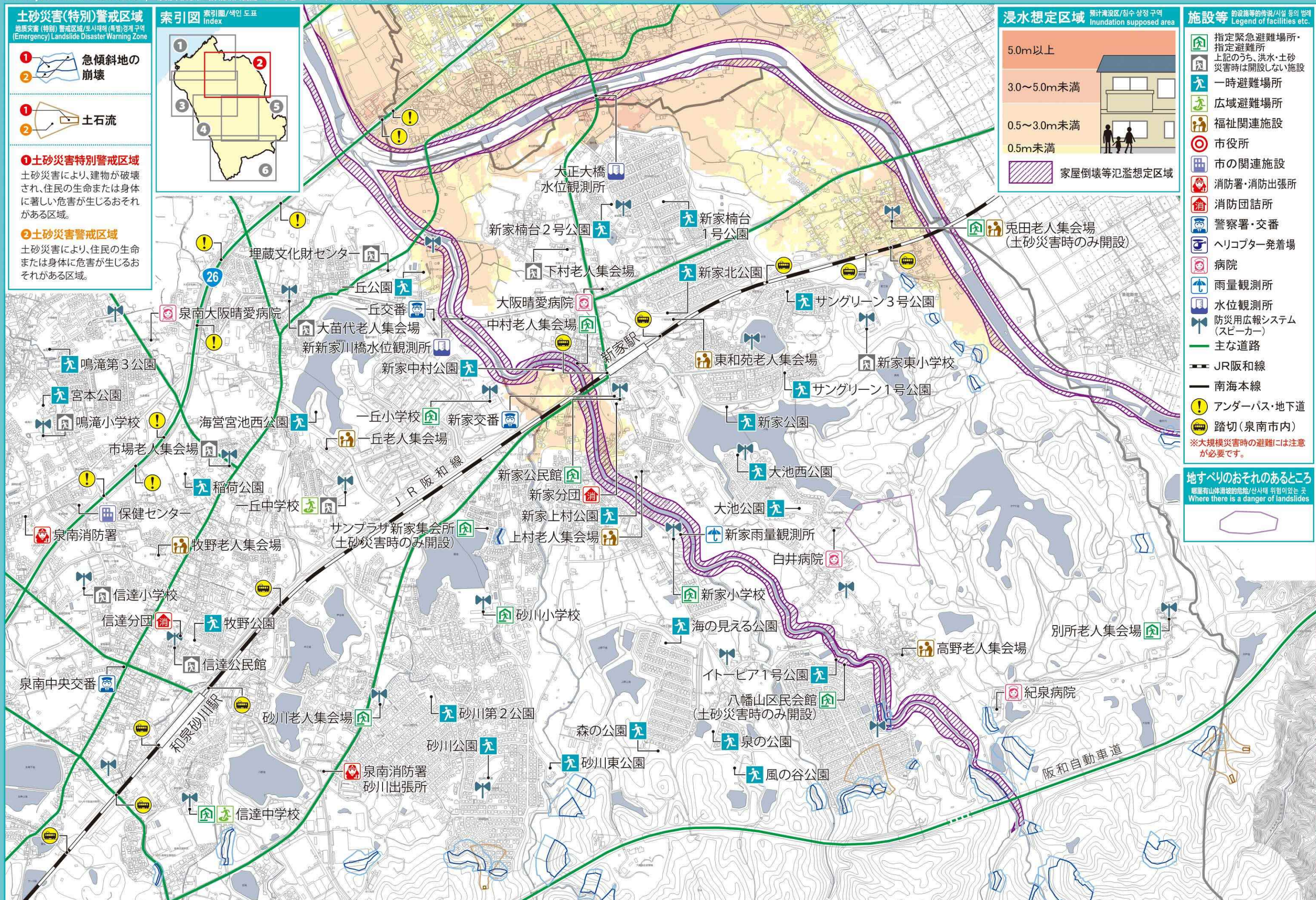
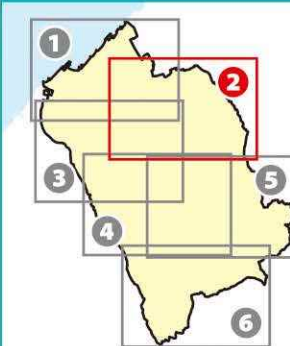
土砂災害により、建物が破壊され、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。

②土砂災害警戒区域

土砂災害により、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域。

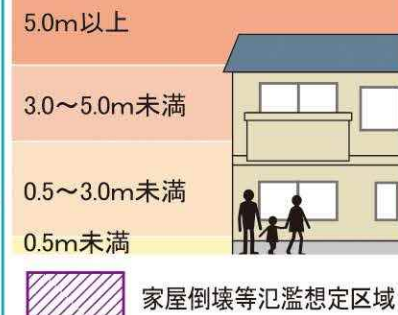
索引図

索引圖/색인 도표 Index



浸水想定区域

预计淹没区/침수 상정 구역 Inundation supposed area



施設等

的设施等的传说/시설 등의 명례 Legend of facilities etc.

- 指定緊急避難場所・指定避難所 (指定緊急避難場所・指定避難所)
- 上記のうち、洪水・土砂災害時は開設しない施設 (上記のうち、洪水・土砂災害時は開設しない施設)
- 一時避難場所 (一時避難場所)
- 広域避難場所 (広域避難場所)
- 福祉関連施設 (福祉関連施設)
- 市役所 (市役所)
- 市の関連施設 (市の関連施設)
- 消防署・消防出張所 (消防署・消防出張所)
- 消防団詰所 (消防団詰所)
- 警察署・交番 (警察署・交番)
- ヘリコプター発着場 (ヘリコプター発着場)
- 病院 (病院)
- 雨量観測所 (雨量観測所)
- 水位観測所 (水位観測所)
- 防災用広報システム(スピーカー) (防災用広報システム(スピーカー))
- 主な道路 (主な道路)
- JR阪和線 (JR阪和線)
- 南海本線 (南海本線)
- アンダーパス・地下道 (アンダーパス・地下道)
- 踏切(泉南市内) (踏切(泉南市内))

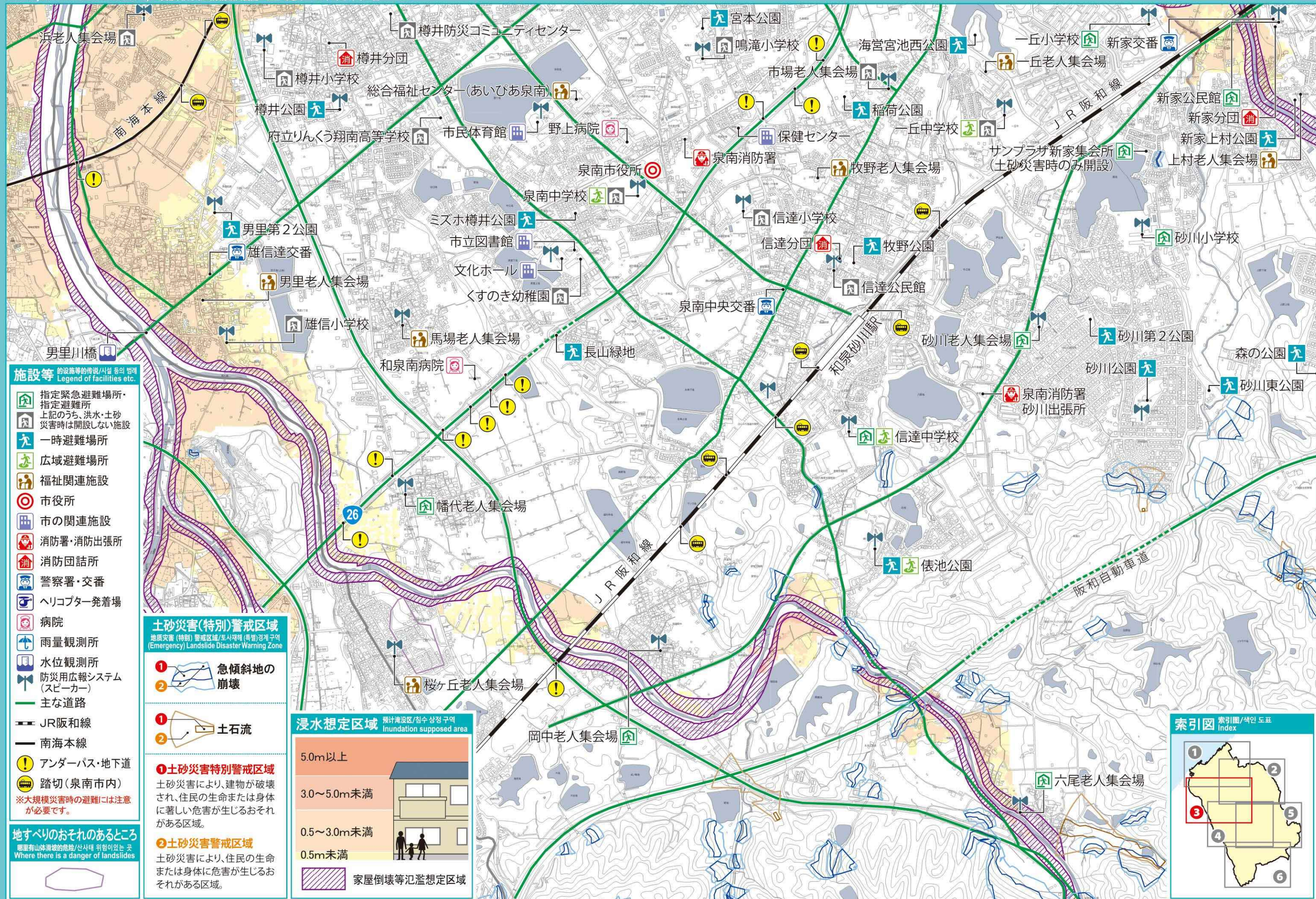
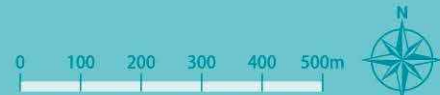
地すべりのおそれのあるところ

哪里有山体滑動的危險/산사태 위험이 있는 곳 Where there is a danger of landslides



泉南市 洪水・土砂災害ハザードマップ 3

Sennan City Flood / Sediment Disaster Hazard Map 泉南市洪水と山体滑動災害図 센난시 홍수·토사 재해 하지도 맵



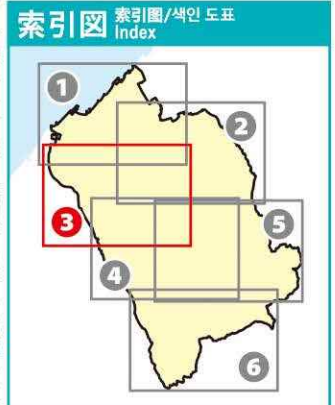
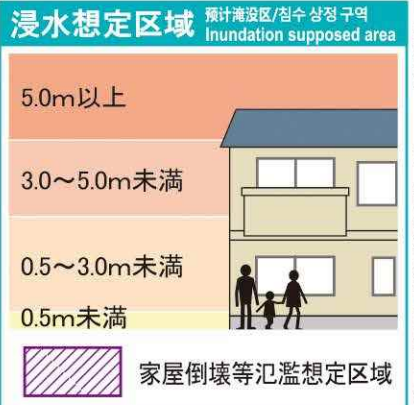
施設等 的设施等的传说/시설 등의 열례 Legend of facilities etc.

- 指定緊急避難場所・指定避難所 (指定緊急避難場所・指定避難所)
- 上記のうち、洪水・土砂災害時は開設しない施設 (上記のうち、洪水・土砂災害時は開設しない施設)
- 一時避難場所 (一時避難場所)
- 広域避難場所 (広域避難場所)
- 福祉関連施設 (福祉関連施設)
- 市役所 (市役所)
- 市の関連施設 (市の関連施設)
- 消防署・消防出張所 (消防署・消防出張所)
- 消防団詰所 (消防団詰所)
- 警察署・交番 (警察署・交番)
- ヘリコプター発着場 (ヘリコプター発着場)
- 病院 (病院)
- 雨量観測所 (雨量観測所)
- 水位観測所 (水位観測所)
- 防災用広報システム (スピーカー) (防災用広報システム (スピーカー))
- 主な道路 (主な道路)
- JR阪和線 (JR阪和線)
- 南海本線 (南海本線)
- アンダーパス・地下道 (アンダーパス・地下道)
- 踏切 (泉南市内) (踏切 (泉南市内))
- ※大規模災害時の避難には注意が必要です。 (※大規模災害時の避難には注意が必要です。)

土砂災害(特別)警戒区域 地质災害(特別)警戒区域/토사재해(특별)경계구역 (Emergency) Landslide Disaster Warning Zone

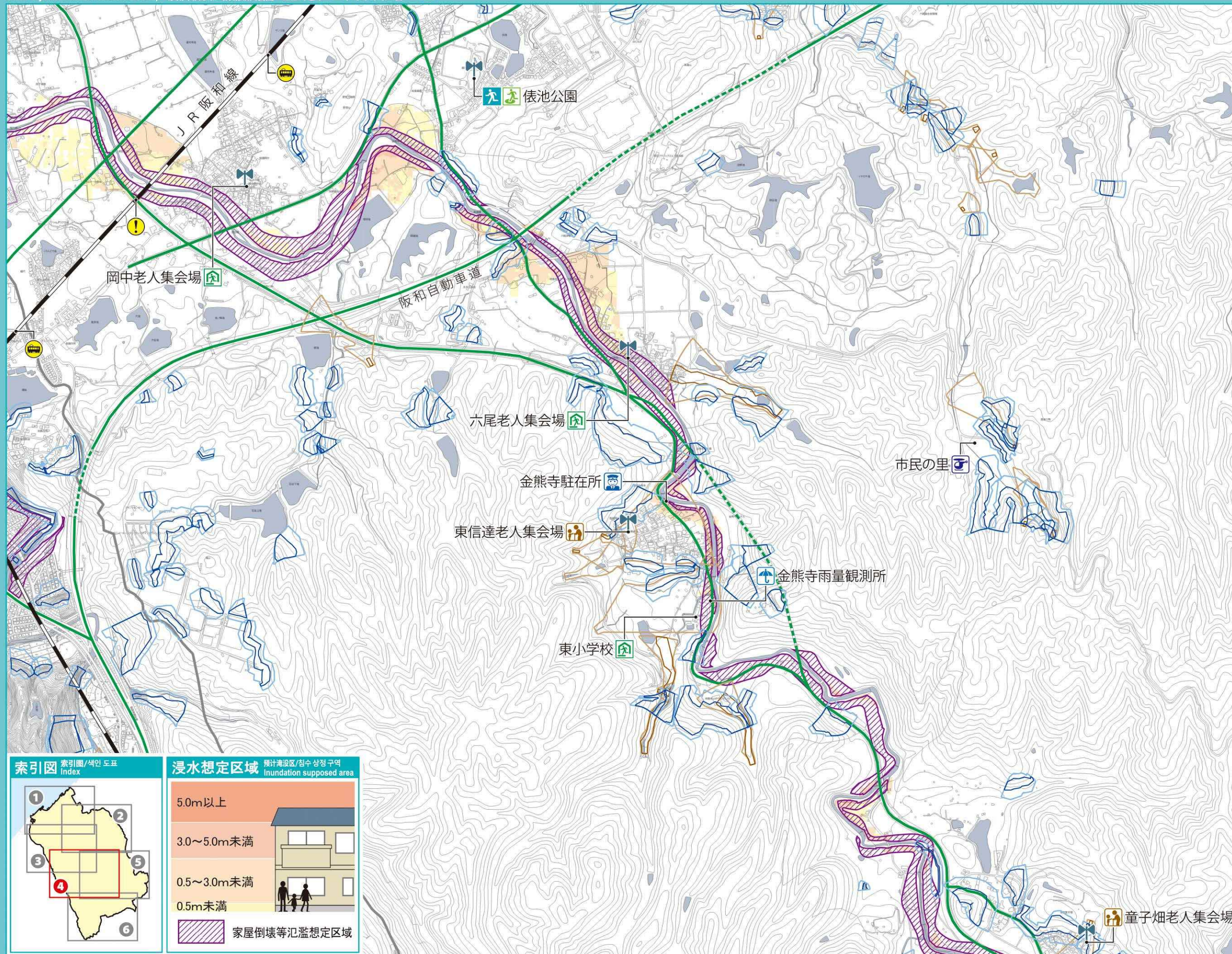
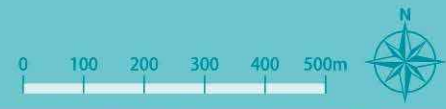
- ① 急傾斜地の崩壊 (急傾斜地の崩壊)
- ② 土石流 (土石流)

- ① 土砂災害特別警戒区域 (土砂災害特別警戒区域)
土砂災害により、建物が破壊され、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。
- ② 土砂災害警戒区域 (土砂災害警戒区域)
土砂災害により、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域。



泉南市 洪水・土砂災害ハザードマップ ④

Sennan City Flood / Sediment Disaster Hazard Map 泉南市洪水と山体滑動災害図 센난시 홍수·토사 재해 하자드 맵



施設等

的设施等的传说/시설 등의 법예
Legend of facilities etc.

- 指定緊急避難場所・指定避難所
上記のうち、洪水・土砂災害時は開設しない施設
- 一時避難場所
- 広域避難場所
- 福祉関連施設
- 市役所
- 市の関連施設
- 消防署・消防出張所
- 消防団詰所
- 警察署・交番
- ヘリコプター発着場
- 病院
- 雨量観測所
- 水位観測所
- 防災用広報システム(スピーカー)
- 主な道路
- JR阪和線
- 南海本線
- アンダーパス・地下道
- 踏切(泉南市内)

※大規模災害時の避難には注意が必要です。

地すべりのおそれのあるところ

哪里有山体滑動的危險/산사태 위험이 있는 곳
Where there is a danger of landslides

索引

索引圖/색인 도표
Index

浸水想定区域

预计淹没区/침수 상정 구역
Inundation supposed area

- 5.0m以上
- 3.0~5.0m未満
- 0.5~3.0m未満
- 0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

土砂災害(特別)警戒区域

地质灾害(特別)警戒区域/토사재해(특별)경계구역
(Emergency) Landslide Disaster Warning Zone

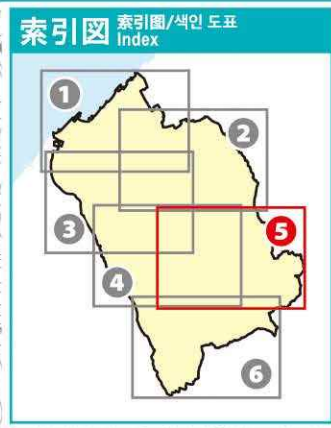
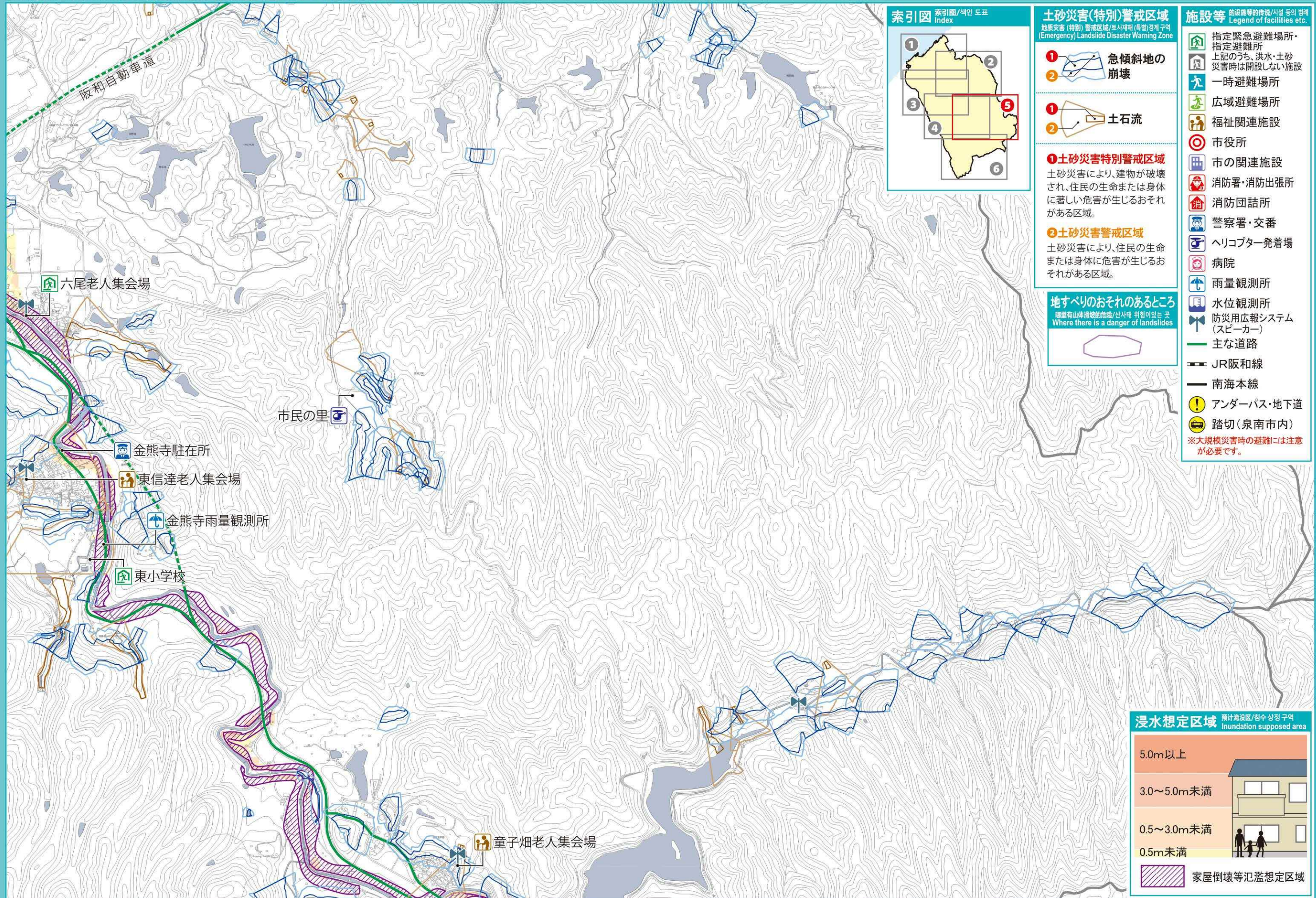
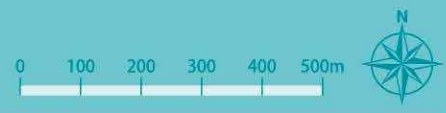
- 急傾斜地の崩壊
- 土石流

①土砂災害特別警戒区域
土砂災害により、建物が破壊され、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。

②土砂災害警戒区域
土砂災害により、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域。

泉南市 洪水・土砂災害ハザードマップ ⑤

Sennan City Flood / Sediment Disaster Hazard Map 泉南市洪水と山体滑動災害図 센난시 홍수·토사 재해 하자드 맵



土砂災害(特別)警戒区域

地质灾害 (特別) 警戒区域/토사재해 (특별) 경계 구역
(Emergency) Landslide Disaster Warning Zone

① 急傾斜地の崩壊
② 土石流

①土砂災害特別警戒区域
土砂災害により、建物が破壊され、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。

②土砂災害警戒区域
土砂災害により、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域。

地すべりのおそれのあるところ

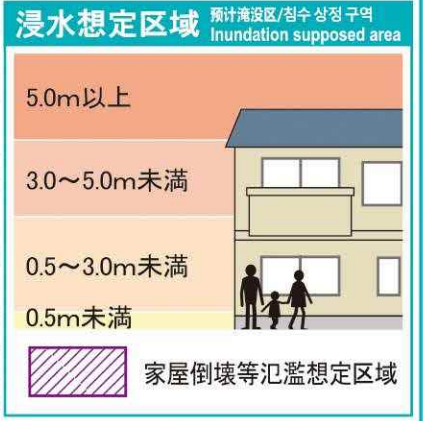
landslide 위험이 있는 곳
Where there is a danger of landslides

施設等 施設等的施設/시설 등의 시설

Legend of facilities etc.

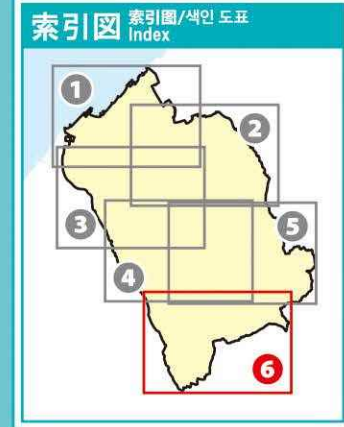
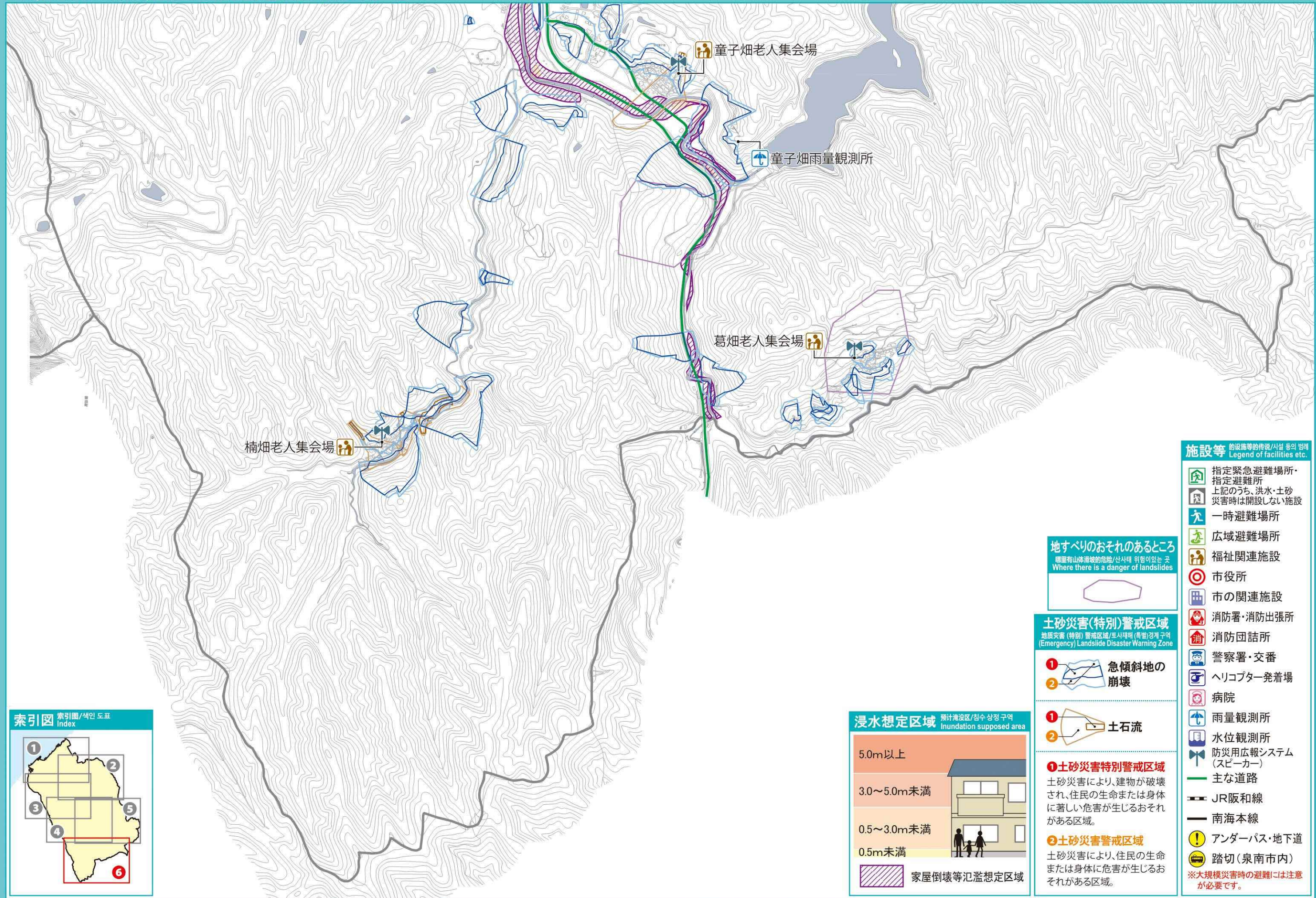
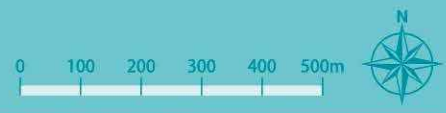
- 指定緊急避難場所・指定避難所 (指定緊急避難場所・指定避難所)
- 上記のうち、洪水・土砂災害時は開設しない施設 (上記のうち、洪水・土砂災害時は開設しない施設)
- 一時避難場所 (一時避難場所)
- 広域避難場所 (広域避難場所)
- 福祉関連施設 (福祉関連施設)
- 市役所 (市役所)
- 市の関連施設 (市の関連施設)
- 消防署・消防出張所 (消防署・消防出張所)
- 消防団詰所 (消防団詰所)
- 警察署・交番 (警察署・交番)
- ヘリコプター発着場 (ヘリコプター発着場)
- 病院 (病院)
- 雨量観測所 (雨量観測所)
- 水位観測所 (水位観測所)
- 防災用広報システム (スピーカー) (防災用広報システム (スピーカー))
- 主な道路 (主な道路)
- JR阪和線 (JR阪和線)
- 南海本線 (南海本線)
- アンダーパス・地下道 (アンダーパス・地下道)
- 踏切 (泉南市内) (踏切 (泉南市内))

※大規模災害時の避難には注意が必要です。



泉南市 洪水・土砂災害ハザードマップ ⑥

Sennan City Flood / Sediment Disaster Hazard Map 泉南市洪水和山体滑坡灾害图 센난시 홍수·토사 재해 하azard 맵



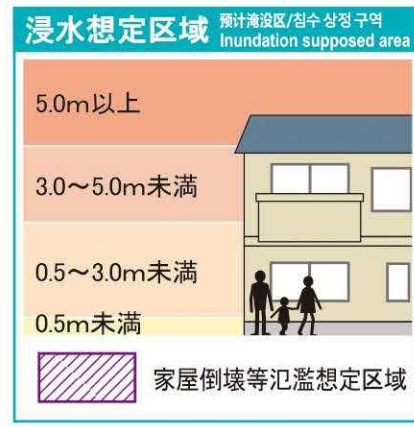
地すべりのおそれのあるところ
哪里有山体滑坡的危险/산사태 위험이 있는 곳
Where there is a danger of landslides

土砂災害(特別)警戒区域
地质灾害(特别)警戒区域/토사재해(특별)경계 구역
(Emergency) Landslide Disaster Warning Zone

① 急傾斜地の崩壊
② 土石流

① 土砂災害特別警戒区域
土砂災害により、建物が破壊され、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。

② 土砂災害警戒区域
土砂災害により、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域。



- 施設等 的设施等的传说/시설 등의 범례
Legend of facilities etc.
- 指定緊急避難場所・指定避難所
上記のうち、洪水・土砂災害時は開設しない施設
 - 一時避難場所
 - 広域避難場所
 - 福祉関連施設
 - 市役所
 - 市の関連施設
 - 消防署・消防出張所
 - 消防団詰所
 - 警察署・交番
 - ヘリコプター発着場
 - 病院
 - 雨量観測所
 - 水位観測所
 - 防災用広報システム(スピーカー)
 - 主な道路
 - JR阪和線
 - 南海本線
 - アンダーパス・地下道
 - 踏切(泉南市内)
- ※大規模災害時の避難には注意が必要です。

地震・津波


地震・津波が起きたとき、とるべき行動

地震発生時には、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。また、海岸付近にいる時に強い揺れを感じた場合は、すぐに津波が襲来することがありますので、津波警報や津波注意報の発表を待たず、ただちに高台などに避難してください。

1

地震・津波発生！地震の揺れから身を守る

- 「頭を保護する」「大きな家具から離れる」「丈夫な机の下に隠れる」など、落ち着いて自分の身を守る。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。



2

安全の確認避難の準備・開始沿岸部では津波警報を待たずに、ただちに避難！

- 家族の安全を確認。
- 火の元を確認・初期消火。
- 足をケガしないように靴をはく。
- 揺れがおさまったら、津波のおそれがある区域に居る人は、ただちに避難する。
- 非常持ち出し品等を手元に用意する。
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。※復旧時の火災・事故を防ぐため
- できる範囲で、地域の避難行動要支援者の手助けを。

3

情報の入手情報の収集は安全な場所で行う

- 安全な場所に移動してから、正確な情報を確認する。
- 間違った情報や、うわさ、デマなどに惑わされないように注意する。
- 安全が確認されるまで、自宅・沿岸部には戻らない。

4

避難場所へ移動一時的に避難した場所から、避難場所や自宅へ移動

- 津波警報が解除されたら、一時避難した場所から、避難場所などに移動し、家族と合流する。
- 避難生活では、集団生活のルールを守り、助け合いの心を持つ。
- 引き続き、災害情報・被害情報を収集。

緊急地震速報を見聞きしたら…

「緊急地震速報」は、最大震度が5弱以上と予想された場合に、震度4以上が予想される地域を対象に報道機関や防災機関からみなさんに伝えられます。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒～数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

家庭では… <ul style="list-style-type: none">●頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。●あわてて外へ飛び出さない。●無理に火を消そうとしない。	屋外では… <ul style="list-style-type: none">●ブロック塀の倒壊等に注意する。●看板や割れたガラスの落下に注意し、丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難する。	人がおおぜいいる施設では… <ul style="list-style-type: none">●施設の係員の指示に従う。●落ち着いて行動する。●あわてて出口に走り出さない。
自動車運転中は… <ul style="list-style-type: none">●あわててブレーキをかけない。●ハザードランプを点灯し、揺れを感じたらゆっくり停止する。	鉄道やバスでは… <ul style="list-style-type: none">●つり革や手すりにしっかりつかまる。 山やがけ付近では… <ul style="list-style-type: none">●落石やがけ崩れに注意する。	エレベーターでは… <ul style="list-style-type: none">●最寄りの階で停止させ、すぐに降りる。 周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保しよう

屋内の安全対策

**■収納に工夫を**

- タンスや本棚などにものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにします。
- 本棚は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。

**■照明器具の補強を**

- 吊り下げ式蛍光灯は、チェーンなどで止めておきましょう。

**■置き方に工夫を**

- 家具の下部の前方に転倒を防止するための板などを入れ、壁にもたれ気味にします。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように、配置の工夫をしましょう。

**■ガラスの飛散防止を**

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

**■耐震金具を利用しよう****転倒防止金具**

壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、天井などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。

**重ね留め用金具**

重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。

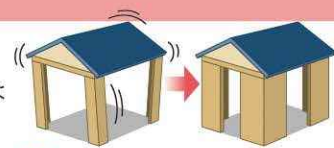
**扉・引き出し開放防止金具**

地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを敷いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけると安心です。



手近な取り出しやすい所に運動靴などを用意しておくと、足のケガを防止できます。

家屋の耐震化

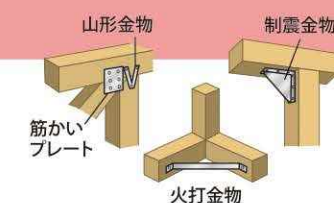
**壁を補強****■耐力壁を増やそう！**

耐力壁の量を増やすと、建物は丈夫になります。

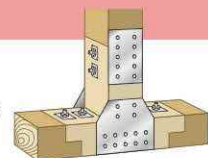
■耐力壁のバランスを良くしよう！

壁の配置にかたよりがあると、地震で建物がねじれるおそれがあります。壁の少ない側に耐力壁を設ける補強をして、建物のバランスを良くします。

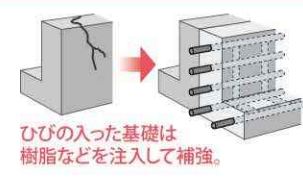
耐力壁とは… ただの間仕切用の壁と区別され、構造用合板などを張り、想定される地震力に抵抗できる壁のこと。筋かいの入った壁も含まれます。

**屋根を軽量化****■軽い材料の屋根に替えることで、耐震構造を向上！**

軽量化については、耐震壁などの上部構造各部の補強とあわせ、全体で考えましょう。


**腐朽部分を補強****■腐朽部分は新しいものと交換しよう！**

劣化した部材を部分的に取り替えた場合、接合部が弱点にならないように補強しましょう。


**建物の基礎を補強****■基礎の補強で耐震性UP！**

無筋コンクリートは耐震性に乏しく、崩壊しやすいので、新たに鉄筋コンクリート造の基礎を抱き合わせます。

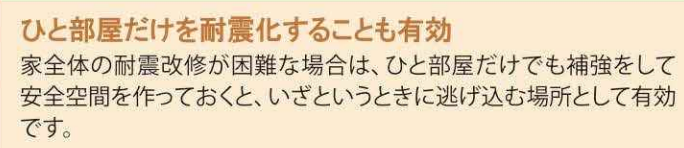
ひびの入った基礎は樹脂などを注入して補強。

**接合部を補強**

山形金物・筋かいプレート・火打金物・制震金物などで補強することで、地震の揺れによるひずみに耐えることができます。

**ブロック塀の倒壊を防止**

ブロック塀に控え壁があるか、鉄筋が入っているか確認しましょう。見掛けはしっかりしていても、その一部に安全性が欠けると塀全体の倒壊につながる危険性があります。

**ひと部屋だけを耐震化することも有効**

家全体の耐震改修が困難な場合は、ひと部屋だけでも補強をして安全空間を作っておくと、いざというときに逃げ込む場所として有効です。

地震・津波

大津波警報・津波警報・津波注意報

地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。

通常、予想される津波の高さは5段階の数値で発表されますが、マグニチュード8を超えるような巨大地震に対して最初に発表される警報は、その海域における最大の津波想定等をもとに、数値ではなく、「巨大」や「高い」という言葉で発表されます。まずは非常事態であることが伝えられ、その後、地震の規模が精度よく求められた時点で津波警報を更新、予想される津波の高さも数値で発表されます。

種類	発表基準	発表される津波の高さ		とるべき行動
		数値での発表	巨大地震の場合の発表	
大津波警報 (特別警報に位置付け)	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (20cm≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	ただちに海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。

- 震源が陸地に近いと津波警報が間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のように巨大な津波が襲来するおそれがあります。ただちにできる限りの避難行動をとりましょう。

津波の発生と伝わり方

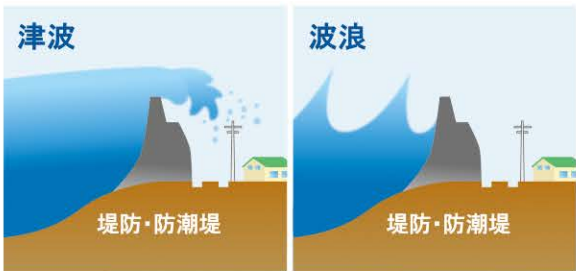
海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝わる現象が津波です。



津波の特徴と避難時の心得

恐るべき津波の破壊力

- 普通の波(波浪)と違い、津波は海底地盤の上下による海水全体の動きのため、海底から海面までのすべての海水が巨大な水の塊となって沿岸に押し寄せ、その破壊力は凄まじいものとなります。
- 引き波も長時間にわたり引き続けるために、家屋などが一気に海中へと引き込まれてしまいます。



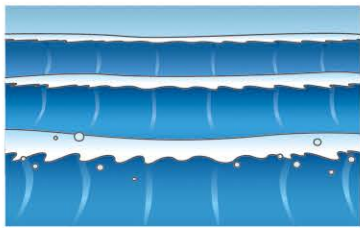
津波の速度は速い

- 津波が陸上をさかのぼるときの速さは、時速36km程度になります。これはオリンピックの短距離走者並みの速さです。
- 津波が見えてから、走って逃げ切ることは非常に困難です。



津波は繰り返し襲ってくる

- 津波は長い時間繰り返し襲ってきます。また、最初に到達する波が最も大きいとは限りません。
- 一度波が引いても、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。



津波は河川を遡上する

- 津波は河口から侵入し、何キロメートルも上流に遡上(逆流)することがあります。
- 遡上した津波が、河川堤防を越えて河川の周辺に大きな被害をもたらすことがあります。
- 津波警報や津波注意報が解除されるまでは、海岸はもちろんのこと、河川にも絶対に近づかないでください。



津波の前に引き波があるとは限らない

- 津波は引き波から始まるとは限りません。
- 地震の種類や震源付近の地形などの影響によっては、いきなり津波が襲ってくることがあります。



地震の揺れがおさまったらすぐに避難

- 揺れがおさまったら、津波警報や津波注意報の発表を待たずに、ただちに安全な高台へ避難しましょう。
- 津波からの避難は一刻を争うため、情報を待っていると逃げ遅れる場合があります。情報の収集は安全な場所へ移動してから行ってください。



遠くへ逃げるのではなく、高い場所へ避難する

- 海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。
- 避難が間に合わない場合は、近くの頑丈なビルの3階以上に避難してください。高い建物がない場合は、少しでも標高の高い場所へ避難してください。

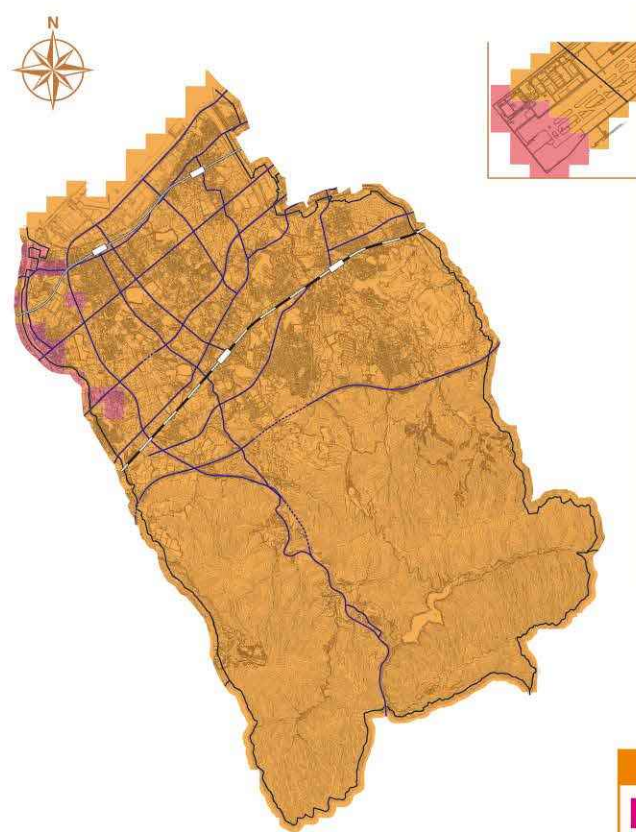


泉南市 地震ハザードマップ 震度分布

このマップは、泉南市に大きな影響をあたえる地震が発生した場合に予想される震度を示したものです。市域に影響をあたえる地震としては、プレートの境界で発生する(海溝型)地震である「南海トラフ巨大地震」、プレートの内部で発生する(内陸型)地震である「中央構造線断層帯地震」の2つを掲載しています。

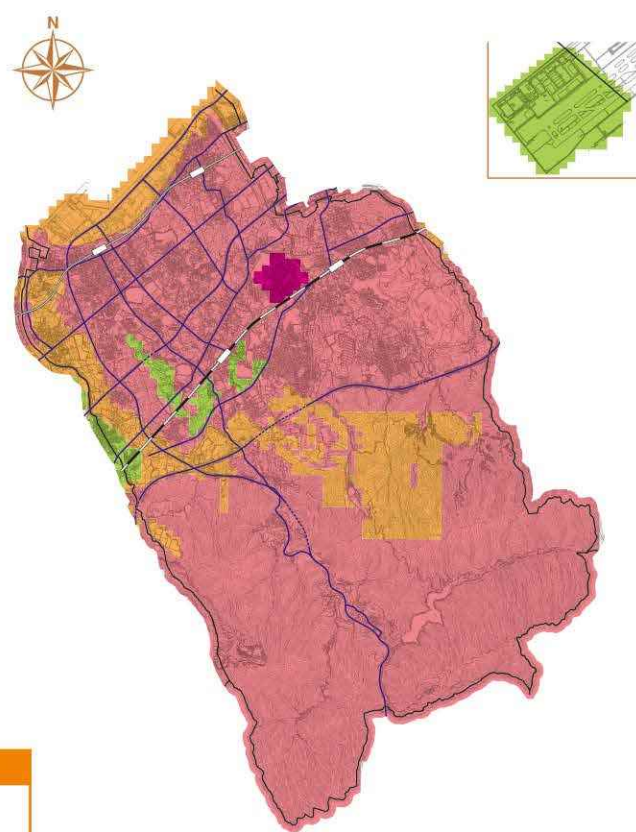
※このマップの想定は、大阪府地震被害想定の結果を示しています。

南海トラフ巨大地震



出典:
平成25年8月
第3回南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会(大阪府)

中央構造線断層帯地震



出典:
平成19年3月(平成23年 泉南市調製)
大阪府自然災害総合防災対策検討(地震被害想定)

震度
震度7
震度6強
震度6弱
震度5強

～想定地震の概要～

<南海トラフ巨大地震>

太平洋沖の南海トラフ(駿河湾～日向灘)で発生する海溝型地震です。

マグニチュード:**8～9**クラス程度
今後30年以内の地震発生確率:**70%～80%**程度

<中央構造線断層帯地震(根来区間)>

近畿地方から四国地方にかけて東西にのびる中央構造線断層帯で発生する内陸型(活断層型)地震です。

マグニチュード:**7.2**程度
今後30年以内の地震発生確率:**0.008%～0.3%**

※地震調査研究推進本部による長期評価(令和4年1月)

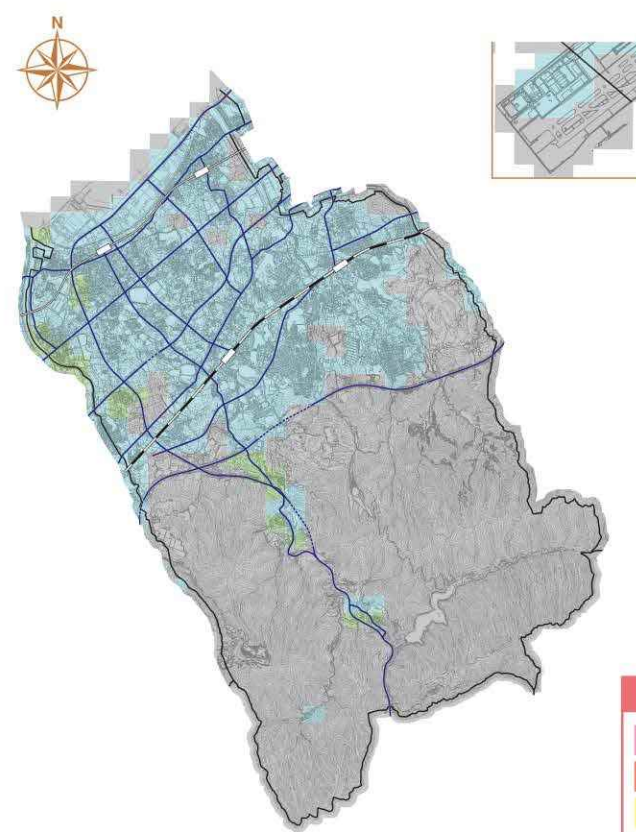
震度階級表

震度5強	●物につかまらなと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本が落ちるものがある。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。
震度6弱	●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
震度6強	●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものがある。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがある。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度7	●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものがある。

泉南市 地震ハザードマップ 建物倒壊危険度

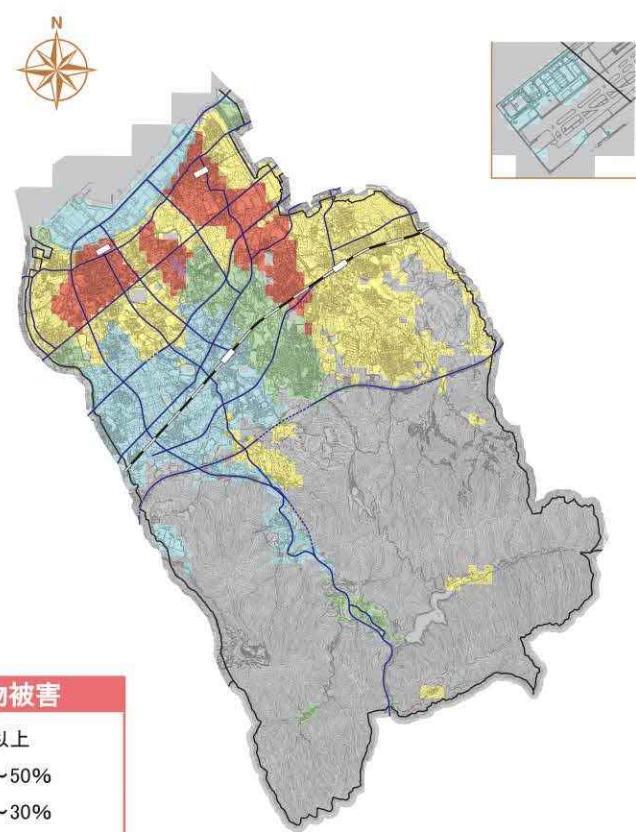
このマップは、泉南市に大きな影響をあたえる地震が発生した場合に予想される建物被害を示したものです。市域に影響をあたえる地震としては、プレートの境界で発生する(海溝型)地震である「南海トラフ巨大地震」、プレートの内部で発生する(内陸型)地震である「中央構造線断層帯地震」の2つを掲載しています。

南海トラフ巨大地震



出典:
平成25年10月
第4回南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会(大阪府)

中央構造線断層帯地震

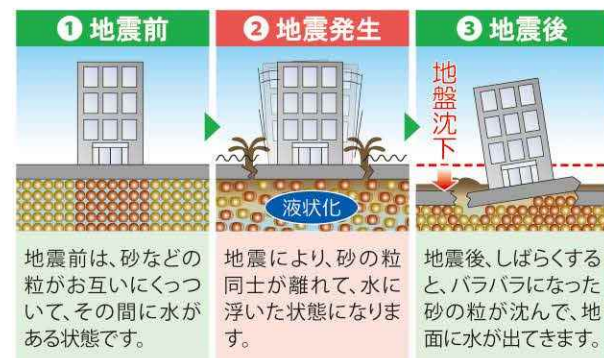


出典:
平成19年3月(平成23年 泉南市調製)
大阪府自然災害総合防災対策検討(地震被害想定)

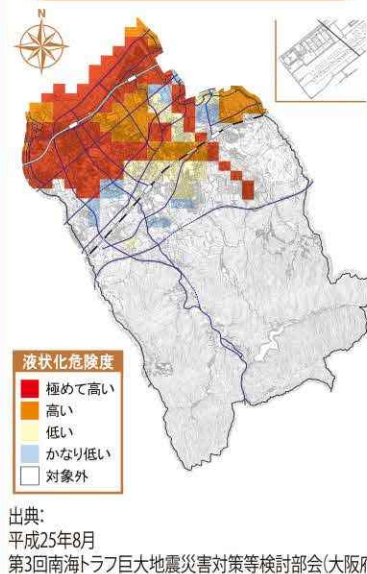
建物被害
50%以上
30%～50%
10%～30%
5%～10%
5%未満
建物被害がない地域

液状化危険度

液状化現象とは、地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが地震により激しく揺らされると、土の粒子が水と混ざり合っ、一時的に液体のようにやわらかくなることをいいます。

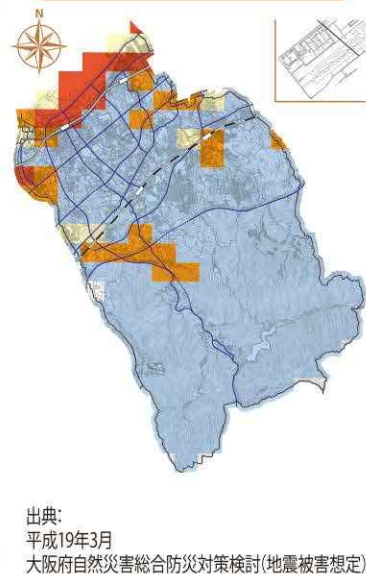


南海トラフ巨大地震



出典:
平成25年8月
第3回南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会(大阪府)

中央構造線断層帯地震



出典:
平成19年3月
大阪府自然災害総合防災対策検討(地震被害想定)

液状化危険度
極めて高い
高い
低い
かなり低い
対象外

泉南市 津波ハザードマップ ①

Sennan City Tsunami Hazard Map 泉南市海啸予測図 센난시 쓰나미 재해예측도



施設等 的设施等的传说/시설 등의 범례 Legend of facilities etc.

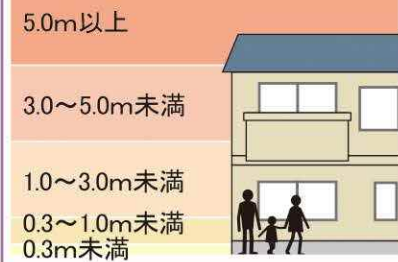
- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 一時避難場所
- 広域避難場所
- 津波避難ビル
- 市役所
- 市の関連施設
- 消防署・消防出張所
- 消防団詰所
- 警察署・交番
- 病院
- 防災用広報システム (スピーカー)
- 南海本線
- アンダーパス・地下道
- 踏切 (泉南市内)
- ※大規模災害時の避難には注意が必要です。
- 津波避難対象地域 (南海本線より海側が対象)
- ※赤字はその地点の標高値

このマップについて

このマップは、平成25年8月に大阪府が公表した津波浸水想定区域に、りんくうタウン内(大里川)下水管渠の逆流水の想定を重ね合わせた地図です。

- 想定される津波は、千年に一度あるいはそれより発生頻度が低い最大クラスのもので、津波規模等により、さらに浸水域が広がる可能性があります。
- 津波浸水想定は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害の範囲を決定するものではありません。また、一定の条件を計算した結果のため、着色されていない区域が必ずしも安全というわけではありません。

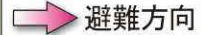
浸水想定区域 预计淹没区/침수 상정 구역 Inundation supposed area



警報が発表されたら、すぐ避難！

If a warning is issued, evacuate immediately!
发出警報后, 请立即避难! 경보가 발령되면 조속히 대피!

1. 南海本線を越えて府道堺阪南線 (旧国道26号) を目標に、高いところや避難場所を目指して避難しましょう。
2. 障害者や高齢者、小さな子どもを連れているなど、迅速な避難が困難な方、避難する時間がなくなった方は、「津波避難ビル」や近くの丈夫な建物の3階以上へ避難しましょう。
3. 車での避難は交通渋滞を招き非常に危険なため、徒歩か自転車で避難しましょう。

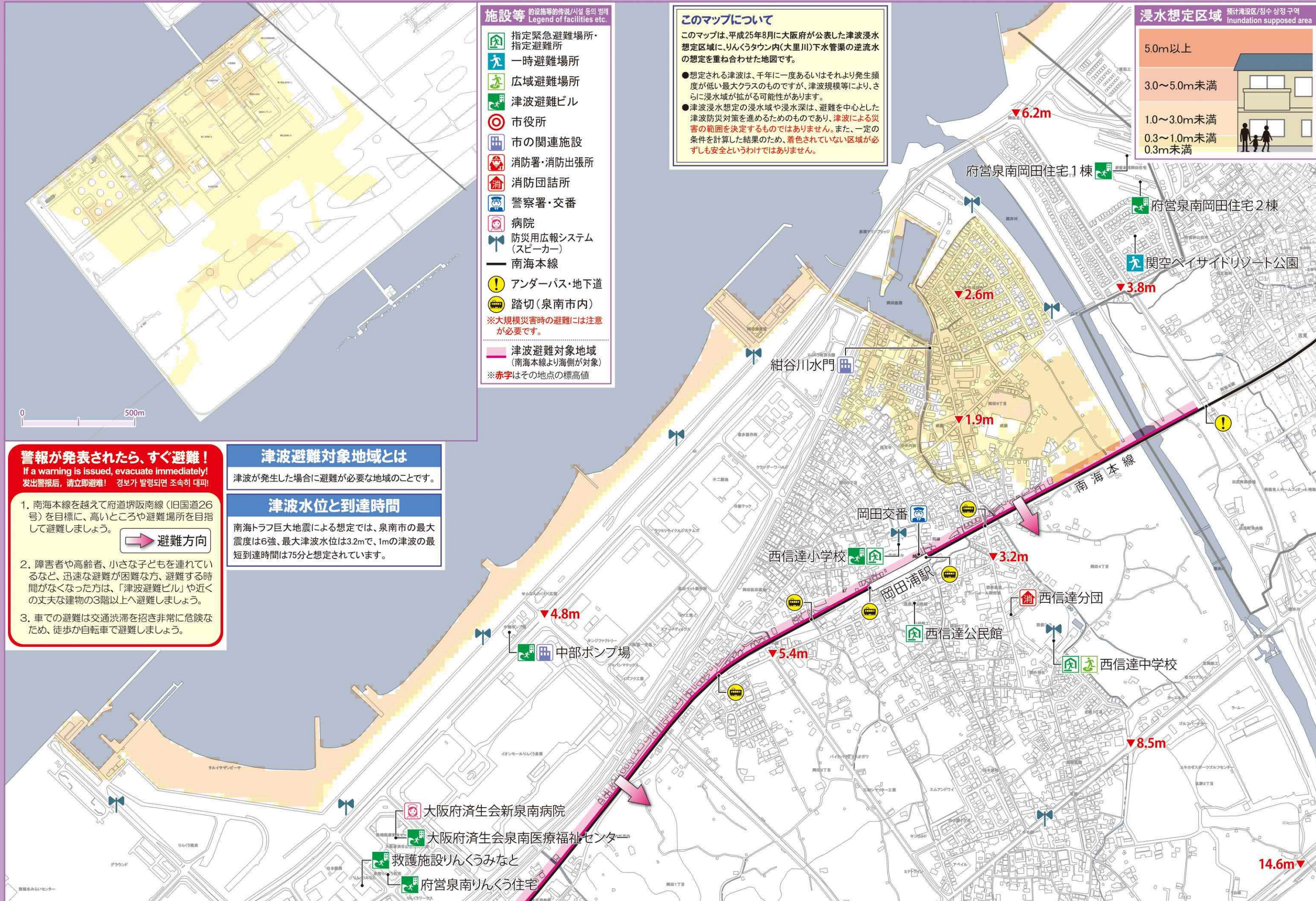


津波避難対象地域とは

津波が発生した場合に避難が必要な地域のことです。

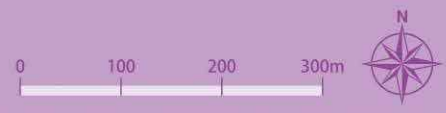
津波水位と到達時間

南海トラフ巨大地震による想定では、泉南市の最大震度は6強、最大津波水位は3.2mで、1mの津波の最短到達時間は75分と想定されています。



泉南市 津波ハザードマップ ②

Sennan City Tsunami Hazard Map 泉南市海啸予測図 센난시 쓰나미 재해예측도

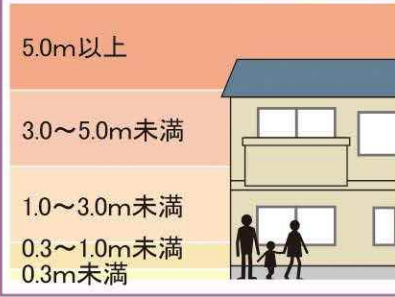


警報が発表されたら、すぐ避難！

If a warning is issued, evacuate immediately!
发出警報后，请立即避難！ 경보가 발령되면 조속히 대피!

1. 南海本線を越えて府道堺阪南線（旧国道26号）を目標に、高いところや避難場所を目指して避難しましょう。
→ 避難方向
2. 障害者や高齢者、小さな子どもを連れているなど、迅速な避難が困難な方、避難する時間がなくなった方は、「津波避難ビル」や近くの丈夫な建物の3階以上へ避難しましょう。
3. 車での避難は交通渋滞を招き非常に危険なため、徒歩か自転車で避難しましょう。

浸水想定区域



施設等

- 指定緊急避難場所・指定避難所
一時避難場所
広域避難場所
津波避難ビル
市役所
市の関連施設
消防署・消防出張所
消防団詰所
警察署・交番
病院
防災用広報システム（スピーカー）
南海本線
アンダーパス・地下道
踏切（泉南市内）
※大規模災害時の避難には注意が必要です。
津波避難対象地域（南海本線より海側が対象）
※赤字はその地点の標高値

このマップについて

このマップは、平成25年8月に大阪府が公表した津波浸水想定区域に、りんくうタウン内（大里川）下水管渠の逆流水の想定を重ね合わせた地図です。

- 想定される津波は、千年に一度あるいはそれより発生頻度が低い最大クラスのものですが、津波規模等により、さらに浸水域が広がる可能性があります。
- 津波浸水想定は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害の範囲を決定するものではありません。また、一定の条件を計算した結果のため、着色されていない区域が必ずしも安全というわけではありません。

津波避難対象地域とは

津波が発生した場合に避難が必要な地域のことです。

津波水位と到達時間

南海トラフ巨大地震による想定では、泉南市の最大震度は6強、最大津波水位は3.2mで、1mの津波の最短到達時間は75分と想定されています。



高潮災害とは

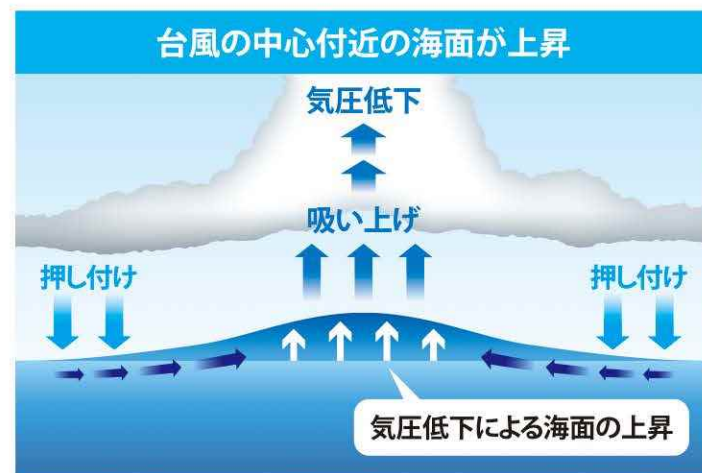
高潮とは、台風や発達した低気圧の接近により、海水面が平常時より著しく高くなる現象です。

高潮が発生するとその高い潮位と波浪・強風により、海水が堤防を越える場合があり、陸地が浸水する可能性が高くなります。また、高潮が発生している海域に流れ込む河川では、高い潮位や波浪により河川の流れが阻害されるため、氾濫が発生し、海岸から離れた内陸部まで被害を及ぼすこともあります。

高潮が発生する要因は、「吸い上げ効果」と「吹き寄せ効果」の2つがあり、それぞれの影響で、場所によって高潮の高さが変わってきます。

●高潮発生メカニズムと潮位

高潮発生メカニズムは、以下の2つです。



吸い上げ効果

台風中心気圧は周辺部より低いため、周辺部の大気は海面を押し付け、中心付近の大気は海面を吸い上げるように働きます。この結果、台風中心付近の海面が上昇します。



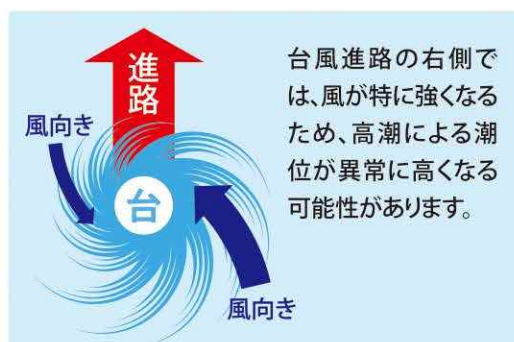
吹き寄せ効果

台風などによる強い風が海岸部に向け長時間吹き続けると、風下の海岸に海水を吹き寄せ、海面が上昇します。

台風のコースと高潮の関係

台風は巨大な空気の渦巻きです。上から見て反時計回りに強い風が吹き込んでいます。

そのため、台風の進行方向に向かって右側の半円では、台風自身の風と、台風を移動させる周りの風が同じ方向に吹くため、風が強くなる傾向があります。風が強くなれば吹き寄せによる海面上昇が著しくなるため、特に台風の進路に対して右側に位置する沿岸域において高潮災害が発生しやすいとされています。



台風のコースと大阪湾

台風が大阪湾に接近する場合は、一般的に南西方向からのコースでの接近が多い傾向にあります。さらに、大阪湾は南西方向に湾口が開いており、台風接近時には湾奥に向かって風が吹くため、海水が湾内に吹き寄せられやすい地形的特徴を有しています。特に台風の進路が湾の奥行き方向と平行に近い場合には、吹き寄せによる海水の湾内流入が激しく、高潮が生じやすい条件となります。

過去に大阪湾で高潮災害をもたらした台風

名 称	室戸台風	ジェーン台風	第二室戸台風	台風21号
上 陸 年 月	1934年(昭和9年)9月	1950年(昭和25年)9月	1961年(昭和36年)9月	2018年(平成30年)9月
気 圧	911.6hPa(室戸岬)	963.1hPa(洲本)	930.4hPa(室戸岬)	950.0hPa(徳島県)
最大風速	42.0m/s(大阪)	28.1m/s(大阪)	33.3m/s(大阪)	58.1m/s(関空島)
最高潮位	3.20m	2.55m	2.82m	3.29m
浸水家屋	166,720戸	80,464戸	126,980戸	—
死 者	1,812人	240人	32人	8人
行方不明者	76人	16人	なし	なし

※被害は大阪府内



大阪市港区の被害状況：ジェーン台風

写真引用：大阪府 ※参考 <https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenkankyo/boujyo/kakonosaiagai.html>



高潮がおしよせる中之島地区：第二室戸台風



冠水した関西国際空港と連絡橋に衝突した船舶：台風21号(平成30年9月)

写真提供：国土交通省近畿地方整備局 ※参考 <https://www.kkr.mlit.go.jp/bousai/saigairairurari/index.php>

高潮災害に備えて

日頃から

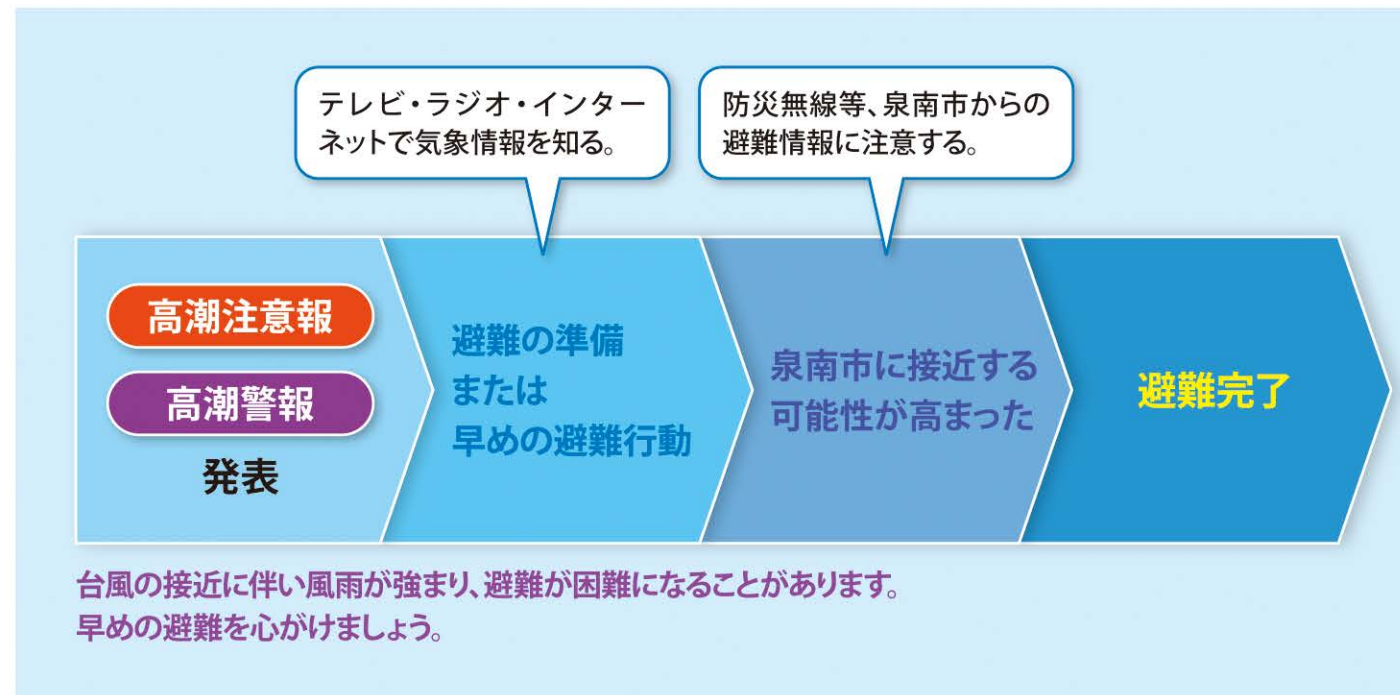
あらかじめ住んでいる場所を知る

高潮ハザードマップで、想定される浸水の深さと避難場所等を確認しましょう。

台風が近づいたとき

気象状況を知る

台風情報で台風の進路や高潮の予報を確認しましょう。



気象庁が発表する高潮に関係する気象情報

●台風情報

台風の中心位置、気圧、最大風速、進路予想など台風の状況に関する情報です。

高潮の発生が予想されるときは、台風に関する情報に高潮に関する情報を含めて発表されます。

●高潮注意報・警報

高潮注意報

台風などによる海面の異常上昇の有無および程度について、一般の注意を喚起するために行う予報で、災害の起こるおそれのある場合に随時発表されます。

高潮警報

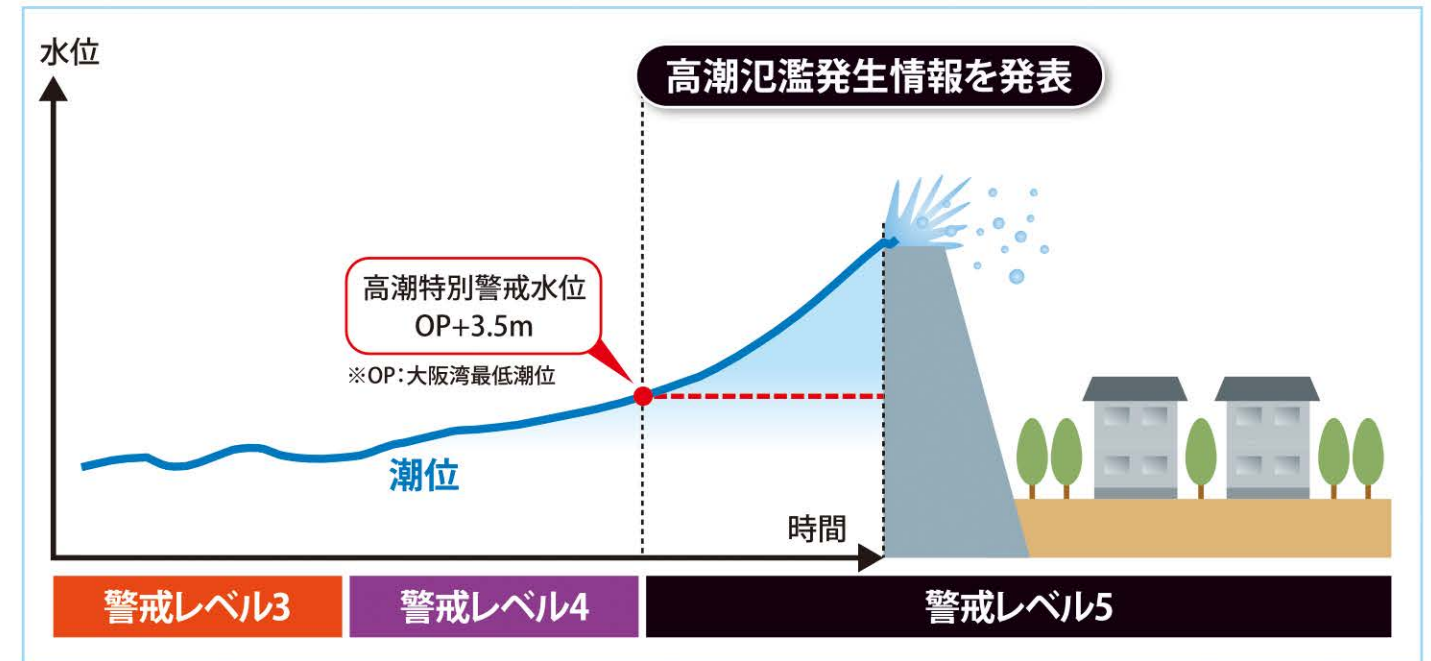
台風などによる海面の異常上昇によって、重大な災害の起こるおそれのある旨を警告するために行う予報で、重大な災害が起こるおそれのある場合に随時発表されます。

高潮氾濫発生情報

大阪府沿岸で台風等による海面の異常上昇によって重大な災害が起こるおそれがあるとき、気象台より高潮警報が発表されます。そのタイミングは、台風の接近等により情報伝達や住民の避難に必要な時間を考慮して設定した高潮特別警戒水位に到達すると予想される約3時間から6時間前に発表されます。

その後、高潮特別警戒水位に潮位が到達した場合、あるいは、氾濫が発生した場合に、高潮による災害の発生を特に警戒すべき状況であることを周知するため、大阪府が高潮氾濫発生情報を発表します。

おおさか防災ネットや、気象庁のホームページでご確認ください。



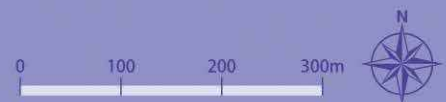
泉南市内の災害ごとの危険箇所

泉南市では、海からは津波・高潮、河川付近や平野部は洪水、山間部は土砂災害が発生する可能性があります。高潮は南海本線より山側にも到達します。また、中央構造線断層帯が揺れると、ほとんどの地域で震度6強が、一部の地域では震度7が想定されています。各災害のハザードマップで自宅の危険度を確認してください。



泉南市 高潮ハザードマップ ①

Sennan Storm surge Hazard Map 泉南市暴潮災害予測図 센난시 해일 해저드맵



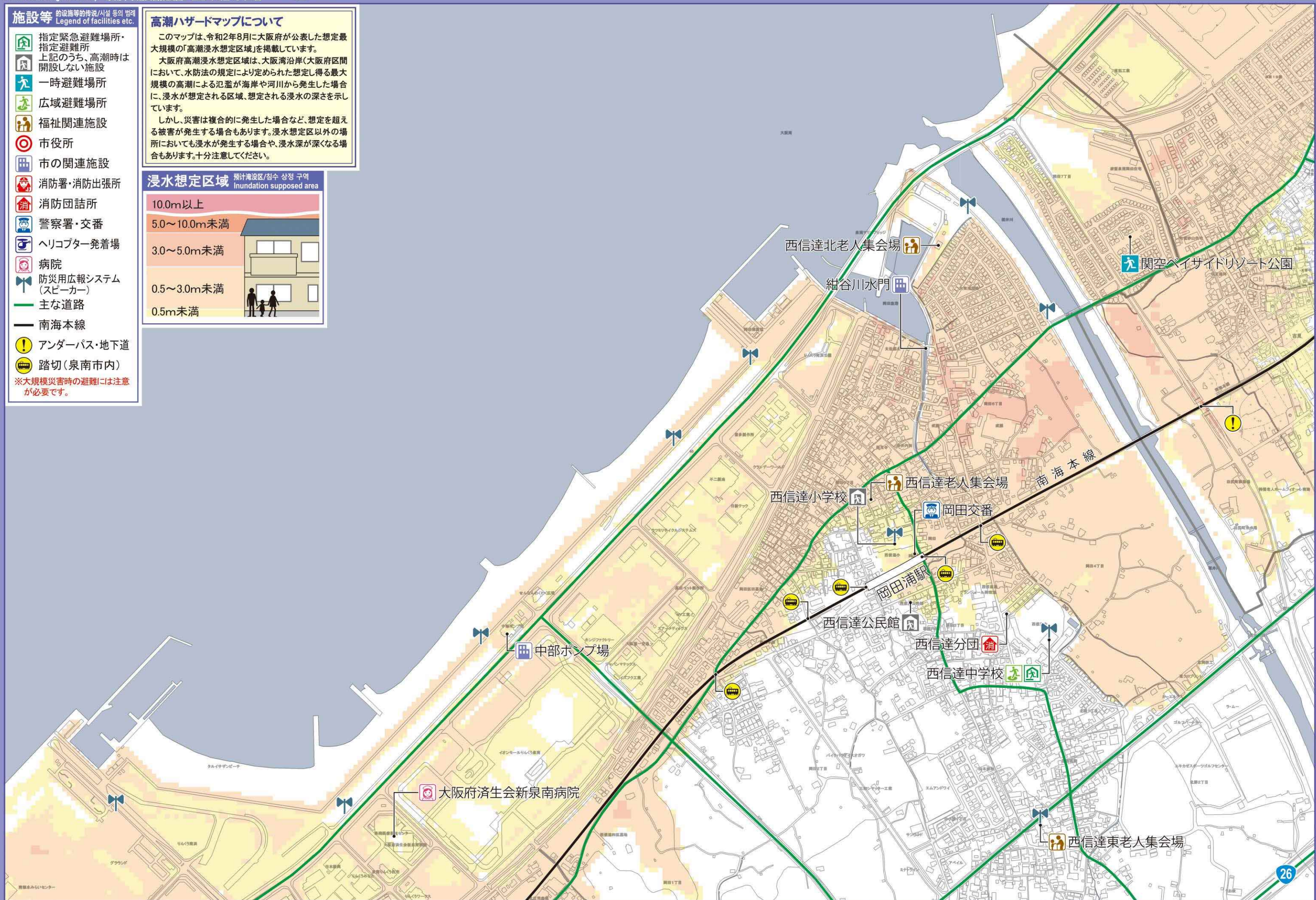
施設等

- 指定緊急避難場所・指定避難所
 - 上記のうち、高潮時は開設しない施設
 - 一時避難場所
 - 広域避難場所
 - 福祉関連施設
 - 市役所
 - 市の関連施設
 - 消防署・消防出張所
 - 消防団詰所
 - 警察署・交番
 - ヘリコプター発着場
 - 病院
 - 防災用広報システム（スピーカー）
 - 主な道路
 - 南海本線
 - アンダーパス・地下道
 - 踏切（泉南市内）
- ※大規模災害時の避難には注意が必要です。

高潮ハザードマップについて

このマップは、令和2年8月に大阪府が公表した想定最大規模の「高潮浸水想定区域」を掲載しています。
大阪府高潮浸水想定区域は、大阪湾沿岸（大阪府区間）において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が海岸や河川から発生した場合に、浸水が想定される区域、想定される浸水の深さを示しています。
しかし、災害は複合的に発生した場合など、想定を超える被害が発生する場合があります。浸水想定区以外の場所においても浸水が発生する場合や、浸水深が深くなる場合もあります。十分注意してください。

浸水想定区域



掲載の避難場所等は、災害の種類により開設されない場合もあります。詳しくは、P47の避難場所・避難所一覧をご覧ください。

泉南市 高潮ハザードマップ ③

Sennan Storm surge Hazard Map 泉南市暴潮災害予測図 센난시 해일 해저드맵



施設等

的设施等的传说/시설 등의 법례
Legend of facilities etc.

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 上記のうち、高潮時は開設しない施設
- 一時避難場所
- 広域避難場所
- 福祉関連施設
- 市役所
- 市の関連施設
- 消防署・消防出張所
- 消防団詰所
- 警察署・交番
- ヘリコプター発着場
- 病院
- 防災用広報システム（スピーカー）
- 主な道路
- 南海本線
- アンダーパス・地下道
- 踏切（泉南市内）

※大規模災害時の避難には注意が必要です。

浸水想定区域

预计淹没区/침수 상정 구역
Inundation supposed area

- 10.0m以上
- 5.0～10.0m未満
- 3.0～5.0m未満
- 0.5～3.0m未満
- 0.5m未満



高潮ハザードマップについて

このマップは、令和2年8月に大阪府が公表した想定最大規模の「高潮浸水想定区域」を掲載しています。
大阪府高潮浸水想定区域は、大阪湾沿岸（大阪府区間）において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が海岸や河川から発生した場合に、浸水が想定される区域、想定される浸水の深さを示しています。
しかし、災害は複合的に発生した場合など、想定を超える被害が発生する場合があります。浸水想定区以外の場所においても浸水が発生する場合や、浸水深が深くなる場合もあります。十分注意してください。

避難場所・避難所一覧

指定緊急避難場所・指定避難所

Designated temporary evacuation site/designated evacuation center
指定緊急避難場所・指定避難所 지정 긴급대피장소·지정 대피소

- 指定緊急避難場所は、災害時の危険を回避するために、一時的に避難する施設や場所です。
- 指定避難所は、中長期にわたる一定期間の避難生活を行う施設です。

※1 津波を伴う地震の場合は開設しません。

No.	名 称	所在地	電話番号 (072)	指 定 避難所	対象とする災害種別				
					洪 水	土砂災害	地 震	津 波	高 潮
1	泉南中学校	樽井二丁目9-1	483-2475	○			●		●
2	西信達中学校	岡田三丁目24-1	483-2249	○			●	●	●
3	一丘中学校	信達市場543-12	484-0333	○			●		●
4	信達中学校	信達牧野34-1	484-1200	○		●	●		●
5	新家小学校	新家975	483-2292	○	●	●	●		
6	信達小学校	信達牧野705	482-2070	○			●		
7	東小学校	信達金熊寺553	—	○	●		●		
8	西信達小学校 ※1	岡田五丁目24-1	483-2127	○			●		
9	鳴滝小学校	信達市場1602	483-0033	○			●		
10	樽井小学校	樽井四丁目29-1	483-4065	○			●	●	●
11	雄信小学校	男里三丁目11-1	483-5312	○			●	●	●
12	砂川小学校	信達市場450-6	484-0251	○		●	●		
13	一丘小学校	新家285-7	483-1153	○	●		●		
14	新家東小学校	兎田729-3	482-3630	○			●		
15	くすのき幼稚園	馬場一丁目3-1	483-2929	○			●		
16	ニチキッズ泉南保育園	樽井八丁目7-5	483-4041	○			●	●	●
17	浜保育所 ※1	男里七丁目13-1	484-2660	○			●		
18	新家公民館	新家2948	483-9314	○	●		●		
19	信達公民館	信達牧野413	483-9264	○			●		
20	西信達公民館	岡田三丁目9-7	483-9270	○			●	●	
21	樽井公民館	樽井六丁目11-16	483-4361	○			●	●	●
22	市民交流センター	樽井九丁目16-2	483-6447	○			●	●	●
23	岡中老人集会場	信達岡中620	—	○		●	●		
24	浜老人集会場 ※1	男里七丁目29-20	—	○			●		
25	下村老人集会場	新家3552-1	—	○			●		
26	中村老人集会場	新家2976-5	—	○	●		●		
27	別所老人集会場	別所222	—	○		●	●		
28	市場老人集会場	信達市場2076-1	—	○			●		
29	六尾老人集会場	信達六尾324-2	—	○		●	●		
30	幡代老人集会場	幡代一丁目13-19	—	○	●		●		
31	砂川老人集会場	信達市場222-6	—	○		●	●		
32	大苗代老人集会場	信達大苗代600-1	—	○			●		
33	埋蔵文化財センター	信達大苗代374-4	483-6789	○			●		
34	樽井防災コミュニティセンター	樽井五丁目14-12	483-4331	○			●	●	●
35	府立りんくう翔南高等学校	樽井二丁目35-54	483-4474	○			●	●	●
36	兎田老人集会場	兎田469-1	—			●			
37	八幡山区民会館	新家1440	—			●			
38	サンプラザ新家集会所	信達大苗代1128-1	—			●			

一時避難場所

一時避難場所は、大規模災害時に、身を守るために一時的に避難する場所です。

名 称	所在地	名 称	所在地
イトーピア1号公園	新家1441	鳴滝第3公園	信達市場1922
男里公園	男里7-1314,1315-2	樽井公園	樽井4-271他
新家北公園	新家3379-1	新家中村公園	新家695-1,697
新家公園	新家3365(サングリーン)	牧野公園	信達牧野227-1他
サングリーン1号公園	新家3365-1	新家上村公園	新家1781-1他
サングリーン3号公園	兎田757-1,新家3365-11	樽井南海1号公園	樽井4-1841-18
大池公園	新家2787-1(いずみ台)	風の谷公園	新家725-351
大池西公園	新家2787-1(いずみ台)	海宮宮池西公園	信達市場764
砂川公園	信達市場31-445	森の公園	新家725-349
砂川東公園	信達市場31-444	泉の公園	新家725-350
前畑公園	鳴滝3-105-3	稻荷公園	信達市場1472
新家楠台1号公園	新家6042	砂川第2公園	信達市場110他
新家楠台2号公園	新家6259	男里第2公園	男里4-442-4他
一丘公園	信達大苗代387	海の見える公園	新家725-8
長山緑地	馬場1-671-1	関空ベイサイドリゾート公園	岡田1664-231
ミズホ樽井公園	樽井2-633-11	宮本公園	信達市場1941-1他
俵池公園	信達牧野1710-1他		

津波避難ビル

津波避難ビルは、緊急時において一時的に避難する施設です。大規模災害時に市が開設する指定緊急避難場所・指定避難所とは異なりますのでご注意ください。最新の津波避難ビル情報は、泉南市のホームページで随時更新しますので、ご確認ください。

(※)夜間・休日の利用不可

名 称	所在地	名 称	所在地
救護施設りんくうみなと	りんくう南浜3-10	府営泉南岡田住宅2棟	岡田7-1690-2
中部ポンプ場	りんくう南浜3-212	東洋クロス株式会社	樽井6-29-1
大阪府済生会泉南医療福祉センター	りんくう南浜3-7	バンドー化学株式会社	男里5-20-1
府営泉南りんくう住宅	りんくう南浜3-8	朝日プラザシティサザンコーストA棟	男里6-15-2
西信達小学校(※)	岡田5-24-1	朝日プラザシティサザンコーストB棟	男里6-15-1
府営泉南岡田住宅1棟	岡田7-1690-1	泉南清掃事務組合(※)	阪南市尾崎町532

マイ・タイムライン

マイ・タイムラインを作成しましょう

台風や大雨で川が増水しているとき、被害にあわないようにするためには、ハザードマップの確認や、マイ・タイムラインの作成など、いつ、どのような行動をとれば良いかを考え、平時から準備しておくことが大切です。

マイ・タイムラインの作り方

災害から身を守るためには、適切に避難することが大事です。災害時の防災行動計画（スケジュール表）であるマイ・タイムラインを事前に作っておくと、いざというときの避難に役に立ちます。下記の手順で作成しましょう！

- 1

ハザードマップで自宅等の浸水の深さを調べる

●ここで重要なのは、自宅の浸水の深さを確認し、「避難が必要かどうか」を判断することです。
- 2

身近な河川の水位観測所を調べる

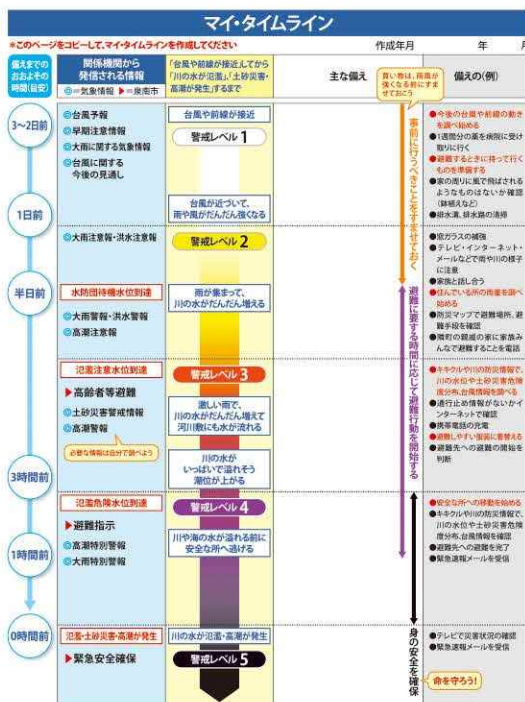
●身近な河川の水位観測所を確認します。台風が近づいたら、その水位観測所で、河川の水位がどう変化しているかを確認することができます。
- 3

自宅の浸水の深さに応じて、適切な避難先を検討する

●自宅の浸水深が高い場合は、浸水しないもしくは浸水深の低い場所の避難場所を決めておきましょう。自宅の浸水深が低く安全な場合には、在宅避難などの検討を行いましょう。

避難完了から逆算して、いつ、どんな行動をとればよいかマイ・タイムラインに記入する

- 避難先が決まったら、警戒レベル3あるいは4の段階で確実に避難を完了させられるよう、とるべき行動を時系列で考えておきます。
- 「避難完了」のタイミングをマイ・タイムラインに記入し、そこから逆算しながら、いつ、どんな行動をとるか記入します。
- その際に、必要な非常持ち出し品や備蓄品、家族での役割分担などについても話し合っておきましょう。



▲マイ・タイムラインの例
参考：国土交通省関東地方整備局
<https://www.ktr.mlit.go.jp/river/bousai/index00000043.html>

マイ・タイムライン

*このページをコピーして、マイ・タイムラインを作成してください

作成年月 年 月

備えまでの おおよその 時間(目安)	関係機関から 発信される情報 ◎＝気象情報 ▶＝泉南市	「台風や前線が接近」してから 「川の水が氾濫」「土砂災害・ 高潮が発生」するまで	主な備え	買い物は、雨風が 強くなる前にすま せておこう	備えの(例)
3～2日前	◎台風予報 ◎早期注意情報 ◎大雨に関する気象情報 ◎台風に関する 今後の見通し	台風や前線が接近 警戒レベル 1			●今後の台風や前線の動き を調べ始める ●1週間分の薬を病院に受け 取りに行く ●避難するときに持って行く ものを準備する ●家の周りに風で飛ばされる ようなものはないか確認 (鉢植えなど) ●排水溝、排水路の清掃
1日前	◎大雨注意報・洪水注意報	台風が近づいて、 雨や風がだんだん強くなる			●窓ガラスの補強 ●テレビ・インターネット・ メールなどで雨や川の様子 に注意 ●家族と話し合う ●住んでいる所の雨量を調べ 始める ●防災マップで避難場所、避 難手段を確認 ●隣町の親戚の家に家族み んなで避難することを電話
半日前	水防団待機水位到達 ◎大雨警報・洪水警報 ◎高潮注意報	雨が集まって、 川の水がだんだん増える			●キキクレや川の防災情報で、 川の水位や土砂災害危険 度分布、台風情報を調べる ●通行止め情報がないかイ ンターネットで確認 ●携帯電話の充電 ●避難しやすい服装に着替える ●避難先への避難の開始を 判断
3時間前	氾濫注意水位到達 ▶高齢者等避難 ◎土砂災害警戒情報 ◎高潮警報 必要な情報は自分で調べよう	警戒レベル 3 激しい雨で、 川の水がだんだん増えて 河川敷にも水が流れる			
1時間前	氾濫危険水位到達 ▶避難指示 ◎高潮特別警報 ◎大雨特別警報	警戒レベル 4 川や海の水が溢れる前に 安全な所へ逃げる			●安全な所への移動を始める ●キキクレや川の防災情報で、 川の水位や土砂災害危険 度分布、台風情報を確認 ●避難先への避難を完了 ●緊急速報メールを受信
0時間前	氾濫・土砂災害・高潮が発生 ▶緊急安全確保	警戒レベル 5 川の水が氾濫・高潮が発生			●テレビで災害状況の確認 ●緊急速報メールを受信 命を守ろう！

- 気象庁が発表する大雨注意報等の発表時間は、イメージで記載しています。
- 避難指示等のタイミングは状況によって異なります。泉南市の防災行政無線やメール配信でお知らせします。市の発信情報に注意してください。

マイ・タイムラインとは、いざというときにあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておくものです。家族で話し合って、シートに記入することにより、適切な避難行動を事前に整理できます。泉南市では、土砂災害や高潮被害にも警戒する必要があります。様々な状況を想定してみましょう。